
MODE et MODE
モード・エ・モード
No.349
HIVER 2010(冬号)
JANVIER
Printemps-Été 2010
PARIS
MILANO
LONDON
NEWYORK
Prêt-à-porter Collections
2010春夏 パリ ミラノ ロンドン ニューヨーク
プレタポルテ・コレクション



肌をささえるという新発想。

しなやかな肌のはり感、洗練された表情が際立つ。

セラムルビビフィアンs

(医薬部外品) 美容液 40g 15,000円(税込15,750円) 新発売

美しいよりも美しく。クレ・ド・ポー ボーテ

clé de peau
BEAUTÉ


www.shiseido.co.jp/cpb/　お問い合わせは 0120-81-4710へ（9:00～7:00／土・日・祝日を除く）　表示価格は希望小売価格です。




ITOCHU CORPORATION +81(0)3 3497 2536
蝴蝶网
hudie.com
Guy Laroche
v慧美网
vimee.net

MODEetMODE
モードェモードNo.349
2010春夏
パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク
コレクション

CONTENTS

Paris

TREND EXPRESS 2010春夏トレンドエクスプレス

2010 春夏パリ プレタポルテ コレクション


GIVENCHY by Riccardo Tisci


LANVIN


DRIES VAN NOTEN


CHRISTIAN DIOR


CHANEL


VIKTOR & ROLF



表紙／CHANEL レイアウト／鎗 瑞希


蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net
MaxMara
MaxMara Japan Co.,Ltd. 03-5467-3700 www.maxmara.com

MODEetMODE
モードェモードNo.349
2010春夏
パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク
コレクション

CONTENTS

2010 春夏ロンドン コレクション

2010 春夏ミラノ コレクション

2010 春夏ニューヨーク コレクション



clé de peau BEAUTÉ sérum revivifiant

新開発の高機能ストレッチ美容液

セラムルビビフィアンsで
ゆるみない、洗練されたフェースラインへ

撮影／友野正





クレ・ド・ポー ボーテ
セラムルビビフィアンS
美容液（医薬部外品）40g、15,750円
11月21日発売

sérum revivifiant

時代のニーズに即した画期的な商品開発力で、世の女性たちを魅了し続ける資生堂「クレ・ド・ポー ボーテ」のスキンケア。この秋お目見えする最新作「セラムルビビフィアンS」は、はり感を失った肌に効果的に働きかけるエイジングケア美容液だ。フェースライン（顔周りの輪郭）や目の下のたるみ、小鼻から唇の両側へと流れるほうれい線やマリオネットラインなど、加齢と共に下降しがちな、老け顔を左右するあらゆるラインを"ストレッチ"。つけた瞬間から肌全体のはり感を即、実感できるという優れもの。毛穴もキュッと引き締めてくれるので、肌表面はすみずみまでなめらかに整った印象に。角層では、保湿に有効な成分が奥深くまで届いて、様々な肌悩みをケアしてくれる。使い方のポイントは、美容液をなじませた後、口元や頬など気になる部分を、下から上へと両手でしっかり持ち上げること。フェースラインをすっきり見せることで、若々しくはつらつしたオーラを全身から漲らせたい。

TREND EXPRESS
2010 spring & summer

Featherweight
羽根のように軽やかに

2010春夏シーズンは羽根のような"軽さ"がキーワードに。
シフォンやオーガンジー、レースやチュールなど
クチュール系のデリケートな素材を、ヌーディな色使いと
ふわりと風になびくフレアなシルエットで展開。
妖精のような可憐なイメージで。


CHRISTOPHER KANE


DOLCE & GABBANA


ANTONIO MARRAS


PRADA


DSQUARED


JOHN GALLIANO

See-through Skirt
シースルースカート

PVCやメッシュも含め、様々な素材やテクニックを駆使して軽やかに進化した今シーズンのシースルー。まずはスカートからトライ。


NINA RICCI


DIOR


JUST CAVALLI


ALBERTA FERRETTI

Airy T-shirts
エアリーTシャツ

薄く透けるエアリーなファブリックで出来たTシャツが今シーズンはマスト。ブラとのコーディネートも楽しみたい。


VALENTINO


BALENCIAGA

Fairy Dress フェアリードレス

今シーズンのワンピは丈がぐっと短くなって、ウエストマークから広がるスカートのフワフワ感が新しい。プラットフォームシューズとあわせて、妖精になった気分で風と戯れて。


VERSACE


DIOR


CHRISTOPHER KANE


GIAMBATTISTA VALLI


FENDI


ROBERTO CAVALLI


ALEXANDER McQUEEN


ALEXANDER WANG

Roomy Style

ルーミースタイル

先シーズンまでのかっちりした
テーラリングアイテムがやや陰りをみせ、
替わって台頭したのが、
部屋着感覚でリラックスして着る
ルーミーなアイテムたち。
軽さの表現のひとつとしても、注目度大。



MARNI

Boxer Pants

ボクサーパンツ

今年のショートパンツは、シルクサテンやレースのトリミングなど、高級ランジェリー感覚をもったボクサータイプがイン。



VIKTOR & ROLF



DIOR

Wrapping

ラップドレス

ガーゼなどオーガニック系の
さしい素材でふんわり身体を
み込むラップドレス。お風呂上
りのようなピュアなイメージで。



CHLOÉ



SOPHIA KOKOSALAKI

Slip dress スリップドレス

シースルーやランジェリーの人気浮上でランウェイに復活したスリップドレス。薄手インナーとの重ね着や、ヌーディなサンダルにショートソックスを履いて、リラックス感を重視。



JOHN GALLIANO



ANTONIO MARRAS



DIOR

Negligee ネグリジェドレス

床まで届くフロアレングスの、ゆったりしたネグリジェドレス。フェミニンなパウダーカラーのシフォンで、女優に。



JUST CAVALLI



EMILIO PUCCI



DIOR

Dust Coat

ダストコート

寝室で着るガウンのような、薄手の軽やかなダストコートが新鮮。肩パットもなく、袖まわりもゆったり、共布ベルトで心身ともにリラックス。



HERMÈS



SPORTMAX

Rustic Fabric

ラスティックファブリック

綦や紗のざらざらした表面感を、特殊加工で表現したラスティックファブリック。黄金色のハイテク素材にプリーツ加工で麦の穂を連想させるものも。



JIL SANDER



GIANFRANCO FERRÉ



MARNI



CHANEL

Nostalgic Feel

ノスタルジックフィール

今シーズンは
豊かな田園生活への憧れや、
大自然とたわむれた
少女時代を懐かしむ、
ノスタルジックで
ラスティックな気分が浮上。



CHANEL



VALENTINO



VIVIENNE WESTWOOD RED LABEL



BOTTEGA VENETA

Country Girl

カントリーガール

素朴で無邪気なカントリーガールのイメージを、ナチュラルな生成りややさしいパウダーピンク、麻やコットンの天然素材、手編みのクロシェやレース、手刺繍入りのエプロンドレスなどで表現。

Graphic &3D

グラフィック＆スリーディー

近年、自身のコレクションを通して、
大自然や地球上の生物すべてに
オマージュを捧げるデザイナーが増えている。
グラフィックプリントで軽さを出したり、
人の手の温もりを伝える
ハンドワークなど表現は様々。



VALENTINO



GIAMBATTISTA VALLI



MAURIZIO PECORARO



MARC JACOBS



BLUGIRL



ERDEM



ROBERTO CAVALLI



GIVENCHY



CHANEL

3D Flower

スリーディー・フラワー

春夏シーズンに欠かせないフラワーモチーフ。今シーズンは、花びらのようなフリルの束やコサージュのアップリケで3D(立体的)に表現するのがイン。





GUCCI



GIVENCHY

Pop Ethnic

ポップ・エスニック

進化したグラフィックプリントの技術で、世界各国のエスニックパターンをポップカラーでフラットに、軽やかにリメイク。



ELEY KISHIMOTO



LOUIS VUITTON



MARC by MARC JACOBS



JOHN GALLIANO

Great Nature Print

グレートネイチャー・プリント

熱帯雨林のグリーンや海洋のオーシャンブルー。モチーフも大自然に生息する動植物をフィーチャー。



GILES



PROENZA SCHOULER



STELLA McCARTNEY



DOLCE & GABBANA



ALEXANDER McQUEEN



EMILIO PUCCI



PAUL SMITH WOMEN

Grunge & Body-conscious

グランジ&ボディコンシャス

相変わらず人気の高い80s(エイティーズ)。
今シーズンは新たに、かつてコム デ ギャルソンらによってもたらされた"ボロルック"や、
ゴルチエによるアウター化したコルセットなど、アヴァンギャルドな側面にスポットが。



BALMAIN



FENDI



RALPH LAUREN



JUST CAVALLI



JIL SANDER

Grunge

グランジ

穴開きセーターやかぎ裂き布に代表される80年代のボロルック、ブロークンデニムを流行らせた90年代のグランジなどが、今新たに見直されている。



D&G



VERSUS

Chain-Mail

チェーンメイル

ミリタリーやフューチャリスティックの表現に欠かせない、"鎖かたびら"と呼ばれる金属製の小さな輪をつないだチェーンメイルが、最新技術でより軽やかに進化中。



BALMAIN



UST
AVALLI

CHRISTOPHER KANE

BALMAIN

ALEXANDER WANG

DIOR

SOPHIA KOKOSALAKI

GILES

VERSUS

EAN-PAUL GAULTIER

JEAN-PAUL GAULTIER

GIAMBATTISTA VALLI

LBD

リトルブラックドレス

今シーズンのボディコンドレスは堅さがとれて、ソフトに洗練された印象へと進化。黒でミニ丈のリトルブラックドレスに注目したい。

Foundation

ファンデーション

コルセットやガードル、バストトップの尖ったブラなどファンデーションと呼ばれる補正下着をアウター、または服の一部に取り入れて。


LEONARD
PARIS
SANKYO SEIKO FASHION SERVICE CO., LTD.
TOKYO HEAD OFFICE : 03-6418-0783 OSAKA HEAD OFFICE : 06-6228-1742

Pick up


D&G

Stencil Leather
ステンシルレザー

夏に最適なメッシュレザー。今シーズンはステンシルのような繊細なレース模様をレーザーでカットアウトしたタイプが登場。


MARNI


LOEWE


HERMÈS

Cyclist Pants
サイクリングパンツ

東京、パリ、ロンドンなど今、世界各国の大都市ではエコへの関心から自転車がブーム。サイクリングパンツもボトムとして復活。


PRADA


VIKTOR & ROLF


JOHN GALLIANO


GILES

Beige Pink
ベージュピンク

昨年から人気継続の、新フェミニンカラーの代表格がピンクベージュ。重ね着でスモーキーな視覚効果を狙って。


VIKTOR & ROLF


LANVIN


BOTTEGA VENETA

Bustier Style
[illegible]スチェスタイル

[illegible]シー[illegible]チェを使った着こなしをマスターしたい気分。がちが[illegible]80sでなく、あくまでソフトに軽やかに。


LANVIN


MISSONI

Micro Pareo
マイクロパレオ

結び目から流れる優美なドレープ感が楽しめるパレオスカート。今年はぐっと短いマイクロミニ丈が登場。

Eyewear


JOHN GALLIANO


BOTTEGA VENETA


VERSACE


DRIES VAN NOTEN


GUCCI


MARNI


PRADA


GIAMBATTISTA VALLI


HANEL


EMANUEL UNGARO


GILES

Head Accessories


CHANEL


DIANE VON FURSTENBERG


JOHN GALLIANO


ANTONIO MARRAS


JOHN GALLIANO


VIVIENNE WESTWOOD GOLD LABEL


CHANEL


MARC JACOBS



あなたが前向きなとき、肌も輝いて見えます。
ディシラは、互いに影響しあう肌と心を見つめ、
先進のサイエンスを、ここちよく心に響かせながら
おとどけします。その発想をベースメークにも。

心のはりを映し出す表情美へ。
ディシラのファンデーション。

それは、ずっと追い求めてきた、妥協のない美しさ。
贅沢なスキンケア成分と光をあやつる高機能パウダーで、
どこまでも澄んだつやとはり感のある上質な仕上がりへ。
すべてをかなえた肌が、凛とした表情へ導きます。

ディシラ ファインタッチベースa
7色　各12,000円（税込12,600円） SPF20・PA++
＊表示価格は希望小売価格です。
お求めの前に「無料トライアルユース」でお試しいただけます。

ショップのご案内・商品情報：http://www.dicila.co.jp/
株式会社ディシラ お客さま窓口：
0120-08-1826（10:00〜17:00/土・日・祝日を除く）

d'icilà
ディシラ


美しい奇跡を、肌へ、心へ。

PARIS

Prêt-à-porter Collections



LANVIN

9月30日から10月8日までの9日間に公式参加で94のショーが行 た2010春夏パリ・プレタポルテコレクション。今年に入って、パリコ 達だった人気メゾンが相次ぎ経営破たん。目下再建に向けスポンサ し中のクリスチャン・ラクロワと、すでに6月に会社を清算したヴェ ク・ブランキーノは今シーズン不参加となった。シーズン閉幕後には ジヤマモトが民事再生手続きを申請。世界同時不況と円高とのダブ ンチによる消費低迷に、近年は無理な海外店舗拡大が拍車をかけ、蓄 た負債は約60億円、今後自力で経営を続けることが困難になったの たんの原因だが、結果的に投資会社がスポンサーとなり新会社を設 ちらに事業譲渡したことでブランドはこれまで通り継続され、耀司 もデザイナー職に留まることで落ち着いた。本人いわく「ぶっ倒れる 服を作り続けるつもりだ」と、世界に羽ばたくきっかけとなったパリ での発表は今後も続ける予定だそう。

かねてからの世界不況で各企業が人員削減を行なった結果、かえ 優秀な人材が得やすくなったという逆説もあり、今シーズンはデ ナー交替や往年メゾンの復活劇が目立った。まず「ニナリッチ」は ヴィトンでマーク・ジェイコブスの右腕として活躍したピーター・コ ングを迎えイメージを一新、前任のオリヴィエ・ティスケンスより ン本来のやさしい持ち味を強調した作風で、まずまずの評価を得 と共にバッグのデザインチームもルイ・ヴィトンからニナリッチに そり流れたらしく、今後は小物も含めトータルでパワーアップを図 定とか。他方、そのティスケンスが一時在籍していた「ロシャス」では ナテッラ・ヴェルサーチに師事し、70年代を代表するニューヨーク ンド、ホルストンの復活に尽力したマルコ・ザニーニが指揮をとり、 ランウェイショーが行われた。こちらも、ティスケンス在籍時とは るイメージで新しいロシャス像を打ち出したが、正直あまり新鮮味 じる出来栄えではなかった。今一度ロシャスらしさとは何かを研究 上で、今後のコレクションに活かしてほしいと思う。また、今年に入 ヴァレンティノの元オーナーだった伊マルゾットグループにより買 れた「ヴィオネ」も今季ようやく復活を遂げた。クリエイティヴディ ターにはプラダで13年という輝かしいキャリアを持つイタリア人、 ルフォ・パリャルンガを起用、20体ほどのマネキンに新作を着せての 模なお披露目だったが、場内は熱気に溢れ、注目度の高さを表した。 含めたトータルでの打ち出しはプラダで養ったビジネスマインドの か。ドレープの元祖という明確なコードをもつメゾンだけに、今後の 次第で面白い展開が期待できるかもしれない。

時々刻々と移り変わるファッション界で、服を通して社会へのア テーゼを訴えるコレクションは激減。徹底したマーケティング主 見直し段階に入り、台頭するファストファッションとの共存共栄な えずブランドイメージの鮮度を保つため、ビッグなメゾンほどあら 策を講じる必要に迫られている。そんな中、生き残りをかけ大きな でたのが「ウンガロ」だ。ハリウッド女優リンジー・ローハンを"アー スティックアドバイザー"という聞き慣れない肩書で迎え入れると ニュースは、パリコレ開幕まで1ヶ月を切った9月9日になって 表された。リンジーは本職の女優業よりも薬物中毒や拒食症、同性 生活で絶えずゴシップ誌を賑わせてきた一方で、レギンスブランド ち上げるなどファッションリーダーとしての顔も持つ"話題づくり" けたヤングセレブ。デザインの実務はプッチなどで経験を積んだエ レラ・アルクスに任せ、彼女とデュオを組む形で新体制を構築。結果 任からコレクション当日までわずか3週間しかなかったという ら、伝統あるクチュールメゾンとしてはお粗末な内容となり残念。 "客寄せパンダ"で終わるのかどうかは未知数だが、次回からは本格 彼女達の作る新しいウンガロが展開されることに期待を寄せたい。

不景気ムードにあおられネガティヴな一面が注目されがちだ シーズンは厳しい現実を吹き飛ばすほどの美しい夢に満ちたコレクションや、デザイナーとしての新しい挑戦や成長を感じさせるコレクションも多数みられたことを、最後に改めて強調しておきたい。ベストコレクションを挙げるなら、クリエーション、エンターテイメント性など総合面で断トツの強さを見せつけたシャネルを頂点に、新しいデザイナーを迎えて1年、大きな成長をみせブランドイメージを見事に若返らせたヴァレンティノ、次いで、安定した作風と高度な技術力で、服のもつ美しさを純粋に追求したディオールの3メゾンが、特に印象に残った。

（モードェモード副編集長 山口八千代）





アールデコ時代のヴィンテージシャンデリアが輝くランウェイでコレクションを披露したランバンのアルベール・エルバス。今年はメゾン誕生から120周年ということで、パリコレ終了後の10月末には日本で記念イベントも行われた。

取材／伊藤英良(Hideyoshi Ito)、山口八千代(Yachiyo Yamaguchi)
撮影／井上美香(Mika Inoue)、大原広和(Hirokazu Ohara)



スワロフスキーが輝く巨大な地球儀を飾り、アイルランドの歌手ロイシン・マーフィーがライブで歌を披露する中、ユニークな新作を披露したヴィクター＆ロルフ。



フィルムノワールにテーマを採ったディオール。フィナーレではトレンチコートにボルサリーノでハードボイルドの主人公を気取ったガリアーノが登場。



ランウェイをテニスコートに見立てて新作を披露したジャンポール・ゴルチエによるエルメス。ボックスカーフレザーをはじめ最高級の素材がスポーツウェアになって登場。



インターネット上でコレクションの生中継を行なったアレキサンダー・マックイーン。





左：ウンガロのフィナーレに登場したリンジー・ローハン(右)と新デザイナーのエステレラ・アルクス。
上：ロシャスの新デザイナー、マルコ・ザニーニ(右の男性)。

下：グランジ・クチュールを提唱したバルマンのクリストフ・デカルナン。





上：モロッコやサハラ砂漠のエキゾチシズムを表現したジバンシィのリカルド・ティッシ。









本物の木やわらをふんだんに使って舞台の上に小さな田園風景を再現したシャネル。ロンドンの歌手リリー・アレンがサプライズライブを披露し(写真上)、フィナーレのマリエの場面では若き日のココ・シャネルを連想させる意味深な三角関係が繰り広げられた。





2シーズン目を迎えたマリア・グラツィアとピエール・パウロ(下2人)のヴァレンティノは、幻想的なカトレアの花(左)をモチーフに、はかなげな色とデリケートな素材使いでふわりとやわらかな作品を披露、メゾンをフレッシュに躍進させた。

CHANEL **シャネル**【Karl Lagerfeld／カール・ラガーフェルド】

問シャネル(ファッション)0120(52)5



グランパレの会場にマリー・アントワネットの隠れ家プティ・トリアノンをリアルに再現した今シーズンのシャネル。「コケコッコー！」とニワトリの鳴き声と共に幕をあけたコレクションは、シャネルのアイコンカラーのひとつで、今回の舞台装飾にもふんだんに用いられたストロー（麦わら）の色・ベージュを中心に、ナチュラルな気分たっぷりに繰り広げられた。切り放したツイードに麻糸の刺繍でラフィアの表面感を出したジャケット、パフスリーブが愛らしいチュールリボンのカントリーブラウス、コーンフラワーのプリントシフォンドレス、生成り色のクロシェのドレスにポピーの花のアップリケをトリコロールカラーで。
(↙)

(↘)パールやビジューはシフォンで包んで麦の実のよう。今回はカメリアの替わりに、マドモアゼル・シャネルが“繁栄”のお守りとして大切にした「麦の穂」をフィーチャー、ブローチや金糸刺繍となって胸元や髪にふんだんに飾られた。シルエットにもマリー・アントワネット時代の名残を残し、マイクロミニのパニエスカートにチェーンモチーフのレッグタトゥ、素朴なサボを履き、タマゴ入れのようなかごバッグからゴールドに輝くシャネル製iPhoneケースを取り出して。ショーの中盤、舞台のせりが突然上がってシャネルの新ミューズ、リリー・アレンがバンドとともに登場、サプライズライブを披露し、コレクションをさらに印象深いものにした。







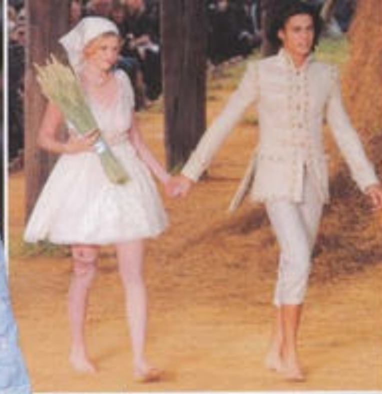



MODEetMODE











(上)リリー・アレン(左から3人目)によるスペシャルライブ
(下)フィナーレのマリエ(ウェディングスタイル)は3人で。













VALENTINO ヴァレンティノ

【Maria Grazia Chiuri & Pier Paolo Piccioli
／マリア・グラツィア・キウリ & ピエール・パオロ・ピッチョーリ】

㈱ヴァレンティノ インフォメーショ
☎03(3263)



マリア・グラツィア＆ピエール・パオロによる2シーズン目のプレタポルテは、これまでヴァレンティノが描いてきた女性像の中でも隠された一面であった"はかなさ"にスポットを当てた。キーワードは「ガーデン」と「フェアリーテール（おとぎ話）」。ウッドのランウェイに、カトレアの花をデフォルメしたグラフィック映像を流し、淡くヌーディーな色使いと、幾重にも重ねた薄手素材が生みだす光と影の効果で、ミステリアスな世界へといざなう。アンティークな色彩を帯びたチュールやレース、シフォン、オーガンジーなどシルクのもつ多様な魅力を最大限に引き出しながら、オートクチュール職人たちによる高度な手技で仕立てられた、妖精のようにふわりと軽やかなミニドレスで若さを強調。ラッフルがゆらゆらと宙に揺れ、背中で結んだ大きなボウが風をはらんで、幻想的なシルエットを描きだす。この上なく豪華なデコレーションがあしらわれたシューズは、英国のアクセサリーデザイナー、フィリップ・トレーシーとのコラボによるもの。メゾンのアイコンのひとつ、フラワーをかたどったコサージュボレロやカクテルドレス、またラストに登場したベージュピンクのシンプルなソワレに、彼らの師Mr.ヴァレンティノへのオマージュが感じ取れた。



















問クリスチャン ディオール☎03(3263



オープニングはハンフリー・ボガートとローレン・バコールが
共演した映画「三つ数えろ」がモチーフに。



グレーラメの妖しい輝きがモノ
クリーンを想わせる今シーズン
マは「フィルム・ノワール（暗
第二次大戦後のフランス映画
ンルで、リアルな手法で犯罪
もの)」。1940-50年代ハリウッ
気女優で、ムッシュ・ディオー
代にはメゾンの顧客でもあった
ン・バコールをミューズに、コレ
ン前半を展開。ディオールのア
バージャケットはより構築的
し、ラメ入りシルクなど繊細な
ショート丈に仕立て直した"ポ
トレンチ"に、シルクのランジ
やパイソンのショーツが合わさ
スキニーデニム以外はすべてマ
ミニで統一、バッグも黒いクロ
ビジネスマン風と、マスキュ
フェミニンな組み合わせが楽し
半は、ガリアーノが大好きな女
[illegible]の「北ホ[illegible]」の
ルがお手本[illegible]。気品あふれる色
緻密な[illegible]ル技で、[illegible]
スのスリップドレスにフラワー
[illegible]やシフォンの花びらを刺繍
ソックスにサンダルを合わせた
な着こなしや、レーシーなニッ
スからランジェリーをのぞかせ
スルールックも。ラストのイヴ
にはトロンプルイユ(だまし絵)
ニックを駆使。シースルードレ
ね着したスリップがブラやガー
ように見える"ガリアーノ流イ
ジョン"を披露した。















問ランバン ジャパン☎03(3289)







ベルギーから取り寄せたアールデコ
のアンティークシャンデリアをラン
イに飾り、シックでエレガントなコ
ションを披露したランバン。今回の
は、アルベール・エルバスがブエノ
イレスに旅行した際に目にした、
ト、赤、ヌードカラーのドレスを
人の女性達がインスピレーション
う。オープンニングは定番の黒。
なドレープや大振りのラッフルを
アシメトリーなドレスはシンプルで
い。タキシードスタイルのオール
ワンは、一度仕立てた後に袖をわ
ざ外したというジャケットがポイ
に。キルティングの風合いを出した
セティック(合成)素材、夏でも着心
よいサマーレザー、スキンカラーの
チェドレスの上に色鮮やかなシフォ
オーガンジーをのせ、トロンプルイ
果を狙ったドレスなど。薄い素材
ラメや刺繍で光を加え、ワン
ルダーやドルマンスリーブ
気をはらんだような軽
さを出してい







GIVENCHY by Riccardo Tisci ジバンシィ バイ リカルド・ティッシ

㈱サードカルチャー☎03(5448



7月のオートクチュールに引き続き、北アフリカのアラブ諸国に伝わる民族衣装のエッセンスをちりばめ、「サイケデリック・モロッコ」と名付けた今回のコレクション。たっぷりドレープをきかせたジャージートップスに絞りのズアーブパンツ、レザーのマイクロミニ・プリーツスカートや、シャープなニットのテーラードジャケットに、とんがり帽子をかぶったスタイルは、チュニジアの男性服が出発点になっている。黒×白のグラフィカルなプリントは、アラビアの伝統柄を60年代のオプ・アート感覚でポップに進化させたもの。靴のつま先まで同じ柄で全身覆い、カモフラージュ効果を狙った。砂丘のようにドレープが美しく流れるシフォンやチュールのミニドレスには、ビーズとスパンコールの立体刺繍で、サハラ砂漠の岩や貝殻、石やデザートローズ（多肉植物）を再現した。
















慧美网
vimee.net


蝴蝶网
hudie.com



BALMAIN バルマン 【Christophe Decarnin／クリストフ・デカルナン】

問バルマン(TCO)☎03(3235)3



ホテル・ルグランのクラシカルなボールルームにHIPHOP調ディスコサウンドが流れるランウェイ。久々復帰の人気モデル、ダリアがトップランを務めて注目を集めた。マイクロミニやスキニーパンツ、ハードな肩パッドなどボディコンシャスなシルエットはそのままに、今シーズンはミリタリーユニフォームやターザンの衣服を想わせるワイルドなタッチが加わった。洗いをかけたカーキやブラックデニムの燕尾ジャケットに、フリンジの肩章と勲章ブローチを。錆びたゴールドのチェーンメイル(鎖かたびら)に切り放しのスエード、ところどころ穴の開いたボロTシャツにはスパンコール刺繍を重ねるなど、今シーズン注目のトレンド、グランジを伝統あるオートクチュールメゾンならではの感性と技術で洗練。他と一線を画した。























今回のテーマは「クレジットクランチ・クチュール（Credit Crunch＝金融用語で、貸し渋りから世の中のお金の流れが滞る危機的現象）」。彼らの原点であるオートクチュールに立ち返り、パウダーカラーのチュールで仕立てた伝統的なボールガウン（舞踏会ドレス）に容赦なくメスを入れ、いったん解体し、マスキュリンなスモーキング（タキシードスーツ）と一体化させながら全く新しい服を作る、というコンセプトを通して、折から(↙)

(↖)の不況にあえぐファッション業界に強いメッセージを投げかける。ボリュームたっぷりに何層にも重ねられたチュールの束を、完璧なレーザーカットで円や水平にくり抜き、整然と刈り上げられた布の断層を表に出すことで、ドレスに新しい表情と3Dの視覚効果を与えた。刈り取られた色とりどりのチュールは、スキンカラーのビスチェドレスの上で、美しいプリーツの装飾となって再び生命を取り戻す。舞台の上では、直径2メートルの巨大な地球儀「ザ・グローブ」（オランダのアーティストデュオ、スタジオ・ジョブによる作品。P.27）に埋め込まれた45万個ものスワロフスキークリスタルが、キラキラと輝きを放ちながら回転。その隣では、アイルランド出身の女性歌手ロイシン・マーフィーがライブを披露。妊娠8ヶ月の彼女のために、ヴィクター&ロルフが特別にデザインした衣装をまとって命の尊さを伝えた。



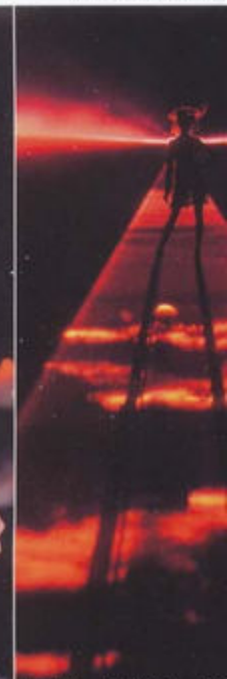
JOHN GALLIANO ジョン・ガリアーノ



招待状はかちんこ(映画撮影で用いられる拍子木)、ハリウッドの脚本家組合によるストライキもおさまり、国外追放の危機も免れてようやくスクリーンにカムバックしようとする人気女優…が、今シーズンのガリアーノの思い描くミューズ。彼女のワードローブには、私生活を隠すため変装用にそろえたトレンチコートとサングラス、デリケートなレースのブラウスやプリントのアフタヌーンドレスといった私服に加え、映画衣装も含まれる。これまで演じた役柄は、純粋な少女から軽薄な伯爵夫人、復讐に燃える美女や勇敢な女傑、究極の悪女ファムファタルと多岐にわたり、エドワード朝様式のロングドレス、パウダーカラーのランジェリー、舞踏会のシーンで着るイヴニングなど、時代や様式もさまざま。レース、シフォン、ポワンデスプリ(小さな水玉柄のチュール)のトランスパラント素材を重ね、刺繍入りTシャツやポルカドットのジョーゼットスカート、セルロイドのコサージュや値札がついたままのアンティークブローチ、ミニのドレープビスチェドレスなどを、量感軽やかにコラージュして、いざレッドカーペットへ。







真っ赤なレーザー光線でレッドカー
ランウェイに再現したオープニング



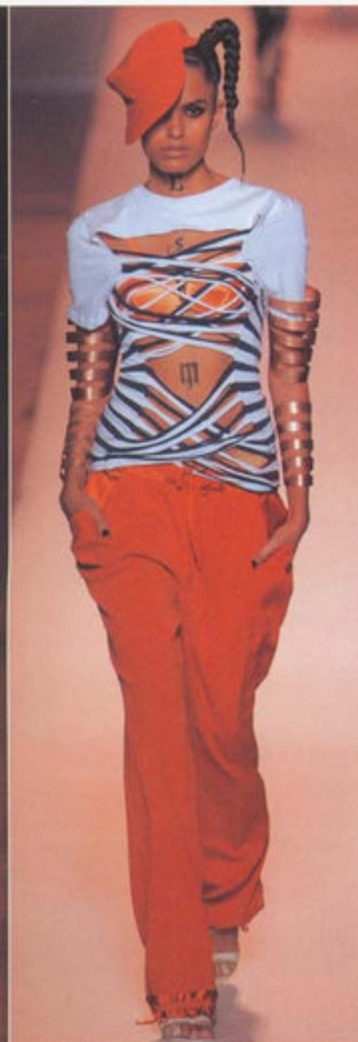




JEAN-PAUL GAULTIER ジャンポール・ゴルチエ

㈱バスストップ プレスルーム☎03(5428)











ゲストとしてフロントロゥに現れたジャネット・ジャクソンとリアーナへ敬意を表すべく、だぼだぼのTシャツに腰ばきのカーゴパンツ、野球帽をかぶったB系（HIPHOP、R&B）スタイルに、先のとがったブラやビスチェ、バンテージなどゴルチエの過去の作品を自らリメイクしながらミックス。デニムに見せたサテンのサロペット、アーミーカーキのボディコンスーツ、ファンデーションと一体化したトレンチコート。ボロボロに裂けたTシャツやメッシュ素材のアイテムに、スキンカラーや[illegible]色のラン[illegible]を[illegible]たり、露わにしたり。コー[illegible]ーへ[illegible]タイ[illegible]バン[illegible]、[illegible]には[illegible]、腕には多重バングル、[illegible]とはグラ[illegible]ーター[illegible]を





ツバメ、ネコ、イヌ、女性のヌード、遠目には連続柄に見えるこれらの模様は、近くで見ると愛らしく、このイラストのモチーフがドレスから靴まで、全作品に用いられる。トップスとスカートやパンツとのコーディネートは、実は布の切り替えで一枚に仕立てたトロンプルイユ。フロントのチュールを、クリスタルビジューやスパンコールで飾り、その上にブラトップを付けて胸元を強調する。ミニドレスや細身のパンツスタイルは若々しく、パフスリーブやシャツ衿、ウエストに施されたスモッキング(ひだ飾り)など、愛らしいディテールが満載のコレクション。

















DRIES VAN NOTEN ドリス・ヴァン・ノッテン

問TFC☎03(5770)5



セルジュ・ゲンズブールのBGMにのせ、日本の曼荼羅やインドのカシミール、インドネシアのイカットなど、東洋の伝統柄をグラフィカルにアレンジ、鮮やかな色彩で軽やかに仕上げた今回。肩からパラシュートのように背負ったトレンチコートはユニークで、ルレックスを織り込んだジャカードのジャケットは肩がシャープに仕立てられた。サリーのように身体に巻きつけたドレス。後ろにトレーンを長く垂らしたスカーフプリントのスカート。前回に引き続き、ドレープをきかせたフェミニンなディテールがコレクションをより一層、魅力的に見せている。後ろに長くリボンを垂らした、ビジュー付きのパールチョーカーが、深く開いた胸元にずっしりと輝いた。











過去にマルジェラやヴィクター&ロルフも受賞経験のある、有望な若手に与えられるANDEMファッションアワードに輝いたロンドンの気鋭ジャイルズ・ディーコン。16万ユーロの賞金と共に得たサポートにより、今シーズン念願のパリコレデビューを果たした。フィット&フレアや細長いビスチェタイプなどクラシックなシルエットのドレスを、ヌードカラーと鮮やかな蛍光カラーのチュール、メタリックレザーやラミネート加工のシルクジャカードでフレッシュに。毒グモと恐竜のモチーフは、イラストプリントのTシャツやパッチワーク、ブローチやぬいぐるみバッグに。ピンクのパンサー柄フレームのサングラスも存在感を示した。シースルーのクリノリンドレス、PVCで恐竜の背びれを飾ったシルクシャンタンのドレスなど、英国的なエキセントリックさをポップなクチュール感覚で。









BALENCIAGA バレンシアガ 【Nicolas Ghesquière／ニコラ・ゲスキエール】

問バレンシアガ ジャパン☎03(5821



伝統的なエレガンスに立ち返った前回から一転、今回のテーマは男女の性差を超えた「アンドロジナス」。レザーを多用したバイカースタイルをはじめ、スコットランドの伝統的な男性服キルトスカートや、ブラストロン(胸当て)付きのメンズシャツから発展させたワンピースなど、素材とディテールにバレンシアガらしいこだわりを込めた。レザーテープに柔らかな合成素材を幾何学的に組み合わせたシリーズは、キュビズムからのインスピレーション。ジュートやヘンプ、ラフィアなどの粗い素材に、ジュエルがきらめくジッパーを。半透明素材にかすかに透けるブラも、レザー製。お菓子のミルフィーユに発想を得たという、様々な色のレザーを重ねてカットし、断面から見える色の違いを楽しんだ作品がユニークだ。











RICK OWENS リック オウエンス



一貫[illegible]にこだわる[illegible]自信[illegible]線が根強いファンを持つ、この春には東京・青山に旗艦店もオープンしたリック・オウエンス。「Release リリース。怖れ、不安からの解放」と題した今回は、ラム、カーフ、カンガルーの革とシルクやコットン、ナイロン、メッシュ、オーガンジーなど異素材のミックスを試みた。キーアイテムとなるブルゾンは、背面に丸いフォルムで切り替えたソフト素材が風を大きくはらみ、すっきりスリムに仕立てられた前面とコントラストをなす。(↙)

(↘)フードや肩襟が立ち上がって3Dフォルムを描き、ジャージートップスの裾から短冊状の細長いパネルがモデルの脚の前後にたなびいて、鋭角的なラインをやわらげる。オールバックヘアの生え際をファンデで塗りつぶし、血の気を感じさせないメイクに。

問ここのえ☎03(5794)9931

コレクションの招待状にも用いられた、世界各地のポストカードがそのままフォトプリントのスイムスーツドレスやブーツとなって登場。しわくちゃにつぶれて丸まったレザーやコットン、ポストイットのアイディアを拝借した布の破片のアップリケ。布地を紙のように丁寧に折りたたんで、身体から浮いたようにみせた立体フォルムのドレス。メタリックコパーのトレーン付きミニドレスには、救命胴衣を背負ったように、肩から10センチほど離れて取り付けられた肩パットが3次元のシルエットを生み出す。












YVES SAINT LAURENT

㈱グッチ グループ ジ
イヴ・サンローラン ディビジョン☎0570-01



単なるフレンチシックではなく「ユーティリタリアンシック(実用性と機能性のあるシック)」をテーマに、ガーデニングを楽しむ女性のための外出着を提案。コットンやリネンなどのナチュラル素材にレザーを加え、苺やチェリー、バラの花のモチーフが随所に登場。チュニック、タブリエ、ノースリーブ、フリル使いのジャケット、裾に切り込みを入れたショートパンツなどが特徴に。





















ロエベ【Stuart Vevers／スチュアート・ヴィヴァース】

㈱ロエベカスタマーインフォメーションサービス☎03(5775)6011

ーズン目を迎え
ウスとしてど
ノベイティヴ
になれるか」と
やすスチュアー
と同じフロア
式で「スポー
ーマに披露した
最新鋭の技術を
トレンチコート
、革とはとう
ないほど極薄
かに仕上げられ
トアウトスエー
コートドレス、
トライブの
ターにメッ
ンチング
スコート、
リッチ革の
ザー。(ヽ)



(ヽ)メッシュレザーのTシャツから透かしたブラもレザーで、プリーツが施されるなどディテールにまでこだわりが。紙製に見えるショッピングバッグも全てレザー。来年で誕生35周年を迎えるアイコンバッグ"アマゾナ"もバリエーション豊富に揃い、注目だ。

SOPHIA KOKOSALAKI ソフィア・ココサラキ



デニムブランド、ディーゼルの「ブラックゴールド」ラインのデザイナーに来シーズンから就任することが決まったソフィア。今回のコレクションでは、シフォンやガーゼ、チュールなど軽く、繊細な素材に、得意のプリーツテクニックやハンドステッチを施し、ふんわり風になびく軽やかなシルエットを追求。コルセットのような革のベストにボイルコットンのボディスーツで上半身をコンパクトにまとめ、ボトムにはレースのミニスカートやギャザーで膨らませたマイクロショーツを合わせる。背中が大きく開いたドレスは前面を刺繍やパッチワークで埋め尽くして。目の細かいフォルチュニー風プリーツなど、ナチュラル感溢れるやさしい印象に仕上げた。





















バンドネオンの生演奏をBGMに披露されたのは、1950年代風のエレガンスを漂わせたシンプルなアイテムにチャラヤン独自のひねりをきかせたもの。両脇の下が大きくくり抜かれ、ベストのように見えるテーラードジャケット。(↙)

(↘)シースルーのランジェリールックと、中に着たブラでバストトップをとがらせたボーダーTシャツ。微細プリーツにモアレのような光沢を放つハイテク素材は変幻自在で、ボディにあしらったツイストが上まで延びて首をすっぽり覆い隠す。ブリムの大きな帽子に、車のルームミラーのように取り付けられたサングラス。ラストの、白いシルクジャージードレスのシリーズには、ドレープ部分に人の手の形をした白い陶器が添えられ、ハンドメイドであることを如実に物語った。

















CHLOÉ クロエ【Hannah MacGibbon／ハンナ・マクギボン】

㈱クロエ インフォメーションデスク☎03(4335)

ハナ・マクギボンが描くクロエガールは、ロマンティックなノマド(遊牧民)。そのスピリッツを体現すべく、春夏シーズンとは思えないほど重量感のあるビッグケープや季節外れのフード付きダッフルコートが今シーズンのキーアイテムとなった。ゆったりしたリラックスシルエットで、洗いざらしのヘアにぺたんこのレザーサンダルを履き、サファリ風シャツドレス、ラペルを排したジャケット、洗いをかけシワっぽさを残したメンズシャツやデニムのセットアップなどを展開。ナチュラルカラーのフェミニンなシフォンプリーツ・ロングドレスが、最もクロエらしい。













問オン ド樫山お ☎03(5476)5811



続いて、今回も会場
ジェルマン・デ・プレ
ブティック本店。マ
ジャクソンやドナ・
など王道のディスコ
ドにのせ、80年テイ
よみがえる。肩パッ
のジャケットやセー
胸元は深く開いたブ
ンザネックで素肌を
ベースとなる黒(↗)

(↘)にブライトカラーやゴールドで強さを。シアーニットやラメニット、スキーパンツやサイクリングパンツ、ニットのオールインワン。透明のPVCコートにニットのスイムウエアを透かして見せ、プレキシガラスのヒールサンダル、シグネチャーのベレーもプラスチックでリメイク。





















KENZO by Antonio Marras ケンゾー バイ アントニオ マラス

ブルーベル・ジャパン☎03(5413)1









中東の砂漠などを冒険したことで知られる20世紀の女性旅行作家フレヤ・スターク、モロッコやサハラ砂漠を舞台にした『シェルタリングスカイ』のポール・ボウルズ、イタリアの文豪アルベルト・モラヴィア、『アルジェの女たち』を描いたフランスの画家ドラクロワら、あらゆる芸術家からインスピレーションを得て、北アフリカのイスラム文化にテーマを採った。モザイク調の幾何学柄や迷彩柄、ゆったりしたフードやズアーブパンツでキャラバン隊の装いを真似、タイダイ、砂のような質感をもつラメツイードや錆びたコパーのスパングルなど、素材のテクスチャーにも凝った。舞台正面の金色に輝く満月が欠け、金箔のシャワーが舞うフィナーレは、北アフリカをこよなく愛したデザイナー、イヴ・サンローランへオマージュを捧げるかのように、カラフルな色使いのイスラムルックのバリエーションで。









小鳥のさえずりが聞こえるランウェイ。ゆったりしたパジャマスーツや部屋着風ガウンに、朝、窓を開けた時のブラインドやレースのカーテンを連想させる、段々に垂れて重なったドレープアクセントが今シーズンの特徴。プリントモチーフは小鳥や四つ葉のクローバー、手描き風マルチカラーのストライプなど。オーガンジーのピエロカラー、ボイルコットンのワンピース、アンティーク調レースのケープレットやミニドレス、スパンコールとオーストリッチフェザーで飾ったイヴニングボレロ。子供のような自由な感覚が楽しい。





















Ennio Capasa for COSTUME NATIONAL

エンニョ カバサ フォー コスチューム ナショナル

㈱ユニット&ゲスト ショール
☎03(3710)3



今シーズンのトレンド「自然」からのインスピレーションを、エンニョらしいプログレ・ロック風に味付けした今回。野菜で染めた自然な色合いや、コットンやシルクのオーガニック素材にハンドプリントやハンドウォッシュを施し、レザーは手染めで味わいを出すなど、すべての素材に手作業によるフィニッシングを加えた。ライダースジャケットにレザーのレギンスやショーツ、金ラメ糸をわざとほつれさせたビスチェドレスなどロックガールの王道アイテムに、フェミニンなシースルードレスがきらりと光った。



















N DEMEULEMEESTER アン ドゥムルメステール

㈱オリゾンティ☎03(5428)6701









ひとつのディテールをデフォルメしながらコレクションを展開するアン。今シーズンはジッパーに焦点を当て、レザーブルゾンやカシュクールトップ、ロングネックレスやヘッドバンドに応用、絶妙な配置で何連にもドレープさせた。ボトムはクロップ丈のスキニーパンツやショートパンツで軽さを出し、ショートブーツ型のマルチストラップ・サンダルを合わせる。素肌に付けたレザーのバンドゥ、鳥をモチーフにしたモノクロプリント、イエス・キリストのいばらの冠を模したチョーカーとプリントTシャツなど、個性の強いアイテムが揃った。

AIDER ACKERMANN ハイダー アッカーマン

㈱三喜商事☎03(3238)1398









布を結び、ねじり、身体に巻きつけてつくられた構築的な作品は、単色でまとめることでさらに陰影を深める。全体にシルエットは細長く、洗いをかけたレザーやしわ加工した素材に風合いがあり、ホルターネックやワンショルダー、ミリタリーテイストなどがアクセントとして加わった。ドレスのバックスタイルはフロントとがらりと表情を変えてペアに。



オランジュリー美術館の展示室を会場に、クリーンな白をベースに、複雑なテクニックを加えてアートのような新しい試みを見せた今シーズン。冒頭に登場したホルターネックのドレスはエッグシェイプで、スカートにふんわりと結び目をつけ、そこから広がる抽象プリントの色彩が、一輪の花が開いたような華やぎを放った。シンプルな白いドレスに重ねた、みずみずしい自然の色をまとったシフォンが風とたわむれ、幻想的。胸元を深く開けたカウルネックのトップスにスポーティなパーカ風コート、前がドレープ、背中がセパレーツの前後で表情が違うワンピースなど、どれも軽やかな仕上がりに。



















ARETH PUGH ガレス・ピュー



グラフィカルな黒と白一辺倒だったガレス・ピューが、今季はトレンドカラーの淡いグレーを全面にフィーチャー。リボンのレースアップディテールが見事なボディコンシャスドレスなど、作り込んだ作品もグレーの色使いがソフトに、軽やかに見せてくれる。流麗なマーメイドラインを描くジャージーのチューブドレスは新しい挑戦。オバークグレーのボディストッキングとメイクで、全身もやをまとったように。

MI FEU リミ フゥ【Limi Yamamoto／山本里美】

㊂リミ フゥ☎03(5769)3900



パリに構えたばかりの自社アトリエを会場に、ショッキングピンクのフェルトのカーペットを敷き詰めて新作を披露。オーバーサイズの白いシャツに黒のベストとロングスカートという、パリのカフェのギャルソンを連想させるスタイルや、ボリューミーなテントドレスが印象的。老若男女のモデルを起用し、ユニセックスでエイジレスなコレクションに。

ALEXANDER McQUEEN アレキサンダー・マックイーン







より多くの人にコレクションを見てもらいたい、という思いから、インターネット上で同時中継という初の試みに取り組んだマックイーン。今シーズンは「プラトンのアトランティス」と題して、再び人類と自然界とのかかわりあいにテーマを探った。はじめに、舞台正面の巨大スクリーンに、英国のファッション写真家ニック・ナイトが制作した、海洋生物へと変貌をとげる１人の女性の映像が映し出された。生化学実験室をイメージした、白いタイル貼りのクリニックのようなランウェイに、２台のモーションカメラがコブラのように終始首をひねらせながら、場内の模様をあらゆる角度から撮影。登場したのは、オーガニックな曲線シルエットをもつマイクロミニのドレスたち。シルクシフォンやウォッシュドタフタなどの素材に、昆虫や爬虫類、植物のモチーフがアースカラーでグラフィカルにプリントされた。なかには、柄をジャカード織で表現したものも。海底深く眠るタイタニック号から着想した、錆びた金属の刺繍。貝やサンゴ礁をイメージした切り放しのラッフルの重ね。サメ肌のような質感をもつレザースーツ。ラストは、光沢のあるオーガンジーで海の泡を想わせるフォルムに仕立てられたドレスのバリエーション。アルマジロのような形をしたトゥシューズ、虫の羽のようなヘアスタイルまで、マックイーンの世界観が投影された。







HERMÈS エルメス 【Jean-Paul Gaultier／ジャンポール・ゴルチエ】











芝生と白線でランウェイをテニスコートに塗り替えた今シーズンのエルメス。自社アーカイブから取り出した1920-30年代のスポーツウェアに今日的な解釈を加え、ゴルチエ風のユーモアも交えながら、最高級素材でこの上なくリッチなテイストに仕上げた。ポロシャツやタンクトップはシルクジャージーを用いてエレガントに仕上げ、スコート風のプリーツスカートはパイソンなどの革にシフォンを切り替えるという贅沢さ。ジャケットはもちろん、サイクリングパンツ、パーカ、サンバイザーまで極薄いレザーで仕立てられ、シアサッカーとプリントシフォンのショートトレンチはリバーシブルで超軽量に。フードの中に納まるバッグ、ラケットとテニスボール入れがついたケリーも登場。重ねづけした漆のバングル、テニスソックスにギリーと呼ばれる編み上げ靴を合わせて。



LOUIS VUITTON ルイ・ヴィトン 【Marc Jacobs／マーク・ジェイコブス】

㈱ルイ・ヴィトン カスタマーサービスセンター☎03(3478)2



「開放的なアフリカとデビー・クロケットのワイルドウエスト」にインスパイアされたという今回。ファーの房飾りの付いたバッグを斜め掛けして、巨大なアフロヘアでランウェイに登場した新世代の旅人たちが、毛皮の帽子を被り鹿皮の服を着たアメリカ西部開拓のヒーローとオーバーラップする。羽根で飾ったクロッグシューズ(甲がサンダル型のつっかけ式のもの)、ドレスを飾るストランド(よりあわせた綱、紐)、ミニに合わせたサイクリングパンツ、ブラやTシャツ、ビスチェなどを重ねてカジュアルに着こなし、あらゆるアイテムを自由に取り揃えたミックス感覚のコーディネート。小さなボウをアクセントにしたウィッグがキッチュ。





























ファンの間で"ステラ・カラー"と親しまれるヌーディカラーを上質のシルクにのせ、得意のテーラードアイテムに展開。体をゆったりマークするルーミーシルエットのパンツやシャツドレス。繊細なレースのボディスーツに襟なしのジャケット。鮮やかな色彩で描くバラや藤の花プリントのプリーツシフォンドレスには大きなカール風フリルがあしらわれ、ロマンティック。ケミカルダイしたデニムスカートにシルクブラウスの裾をインして茶色のベルトを締めたルックは、母リンダ・マッカートニーの1980年代のスタイルをイメージしたものとか。









今シーズンより前任のオリヴィエ・ティスケンスに替わって元ルイ・ヴィトンのシニアデザイナー、ピーター・コッピングを新たに迎えたニナリッチ。メゾンを象徴するレモンイエローやパウダーピンクのやさしい色使いに黒をきかせ、レースやチュール、フラワープリントシフォンの繊細な素材をフリルティアードで重ね、リボンを添えて、愛らしく。











YOHJI YAMAMOTO ヨウジ・ヤマモト【山本耀司】









10月9日付けで東京地裁に民事再生法の適用を申請し、多くのファンや関係者に衝撃を与えたヨウジ。投資会社の支援を得て新会社を設立、今後もデザイナーとしてブランドを継続することで落ち着いた。そのわずか1週間前の10月2日、パリの自社アトリエを会場に披露されたコレクションでは「ナルシスティック・ビッチ」と名付けて、いつになくパンクなイメージを強調。BGMにKISSのハードロックとドリス・デイの「ケセラセラ」「センチメンタルジャーニー」が交互に流れ、KISS風の白塗りメイクをしたモデル達が、コルセット風のバイカーブルゾンにミニスカートやスキニーパンツ、ジッパーアクセントのロングシャツドレス、薬品で溶かした穴開きアイテムに身を包んで登場。ヨウジらしさを残しながらも、ボディコンシャス、ハイヒール、肌の露出や花柄プリントなど、これまで自身でタブーとしていたあらゆるものに挑戦することで心機一転、新たなる思いを込めた。













ANUEL UNGARO エマニュエル・ウンガロ

【Estrella Archs & Lindsay Lohan／エストレラ・アルクス＆リンジー・ローハン】

問ウンガロ ジャパン☎03(5524)6071



今シーズンより、セントマーチン卒で「ニナリッチ」や「エミリオプッチ」で経験を積んだエストレラ・アルクスを新チーフデザイナーに、またアーティスティック・アドバイザーに、ファッショナブルな若手セレブとして人気の米女優リンジー・ローハンを迎えるという前代未聞の試みで注目を集めたウンガロ。鮮やかな"ウンガロピンク"のマイクロミニドレス、ドレープをきかせたパフスリーブブラウス、ポップなハートモチーフのプリントやスパンコール刺繍など。LAのパーティガール感覚で、クチュールメゾンのコードがカジュアルに表現された。

ENNE WESTWOOD GOLD LABEL ヴィヴィアン・ウエストウッド ゴールドレーベル

問ヴィヴィアン・ウエストウッド インフォメーション ☎03(5791)0058



「惑星ガイヤ(大地の女神)」と名付けられたコレクションで、ヴィヴィアンのメッセージ性はシーズン毎に強まっていく。環境保全活動の実施要項として、「ドレスダウンしよう」と提案し、「イヴニングをデイリーに、また逆も然り」とアジる。山火事のようなヘアと、白塗りにおちょぼ口紅の舞妓さんメイク。裂け目のあるドレスやトレンチ、落書きペインティング。パンクなアヴァンギャルドを前面に押し出して、メッセージカードを胸に主張を掲げる。

GIAMBATTISTA VALLI ジャンバティスタ ヴァリ

問ステディ スタディ☎03(5469

木目調のランウェイで、白、黒、エクリュ、グリーン、コーラルの色使いに、モチーフには、リーフ(葉)、花、アニマルなどを使って自然を意識したコレクションを展開。ミニドレスの裾はチュチュのようにフリンジや羽根で飾り、コクーンドレスやコートは軽さを意識した仕上がりに。




























昨年ドイツの老舗バッグメーカー、コンテスを傘下におさめたことから、今シーズンのランウェイでは、ホースヘア(馬の毛)やチェルボ(鹿革)などプレシャス素材を使った幾何学フォルムのバッグラインがデビュー。ダブルフェイスウールのドレスやシルクジョーゼットの"パラシュート"シルエットのドレスなど、今シーズンは深くカットされた胸元や袖ぐり、背中に切り替えたメッシュなどから、服と同色のストリングブラをのぞかせるのが特徴。革に施したレーザーカットのバリエーションで、スイスの自社アトリエが誇る高度なテクニックを披露した。



OCHAS ロシャス【Marco Zanini／マルコ・ザニーニ】










クリエイティブディレクターのマルコ・ザニーニはミラノ出身の38歳。ローレンス・スティール」「ドルチェ＆ガッバーナ」の後、「ヴェルサーチ」で９年経験を積み、ニューヨーク「ホルストン」のクリエイティブディレクターを経て、昨年ロシャスへ。先シーズン、プレゼンテーションでデビューし、今季改めてランウェイ形式でのお披露目となった。カラフルなコサージュ付きの細ベルトでウエストをマークするのが今季の特徴で、ジャケットの上から巻いてペプラムをほのかに膨らませたり、裾をショートパンツにインして巻いたり。アースカラーにエキゾチックなフラワープリントで夏らしい気分を演出。

HIROKO KOSHINO ヒロコ コシノ [コシノ ヒロコ]

パリコレ復帰2シーズン目となる今回は「自然」からのインスピレーション。さなぎが美しいアゲハ蝶へと変身を遂げるメタモルフォーゼの過程に「シュールな小世界」を見たというヒロコは、黒と白にヴィヴィッドカラーのシェーディングや、羽をクローズアップした"マクロ・フォトプリント"、虫の腹部を連想させるネットとリボンの段々重ねや、メッシュを部分的に切り替えた無縫製のドレスなどで、詩的に表現。ドレスのストラップや胸元に折り紙モチーフをあしらい、プリーツの上にはハンドステッチ、タフタのドレスに合わせたポップアップのような紙製のヘッドドレスなど、全ての素材、テクニックに日本の先端と伝統をバランスよく取り入れた。

























Interview with Hiroko Koshino



──今回のテーマはどのような背景から生まれたのですか？

HK：世の中には目に見えないくらい小さな、とてもきれいな生き物が存在しています。人間ってつい大きなものばかりを見がちだけれども、小さなものに目を留めることも大事なんじゃないか、と思ったのがきっかけです。その思いを、ファッションを通して伝えていくことが私達の仕事かな、と。今しきりにエコの時代と言われるけれど、「自然の美しさ」にファッションデザイナーとして改めて目を向けたのが、今回のコレクションです。作品総数は、前回の秋冬より10点増えて50点。全体に"軽さ"を意識して作りました。もちろん素材、テクニックすべてに日本の最新鋭を投影しています。クチュール的な要素を強調したけれど、中には無縫製という特殊技術を用いたものも。真空パックのようにぺったんこに折り畳めて、大量生産も可能なんですよ。

──パリコレ復帰2シーズン目に意識したことは？

HK：2回目だから張り切って頑張らなくては、などと難しくは考えませんでした。むしろ前回の方が肩に力が入っていたと思います。今回は、日本文化の象徴である「折り紙」を自然体で表現するというのも一つのテーマでした。私達日本人が長い歴史のなかで大切にしてきた美しい独自の文化を、ファッションという非常に分かりやすい方法で世界の人たちに伝えることができたら、最高です。

先シーズンは台湾でもコレクションを行なったように、今後も私の作ったものを求めてくださる国には積極的に出向いて、発表していきたいと思っています。特にパリは芸術に対して関心の深い人が多く、同時に評価も非常に厳しいので、日本とは違う意味でやはり重要です。世界幅広く評価が得られるようなコレクションを作らないと、やはりデザイナーとして失格ですから、いつでも自分を試すような場に身を置いていたいと思っています。求められている間はパリで発表を続けたいですね。

──先ごろ鳩山幸(みゆき)首相夫人がニューヨークでの国連総会でヒロコさんのお洋服を着て話題になりましたが。

HK：彼女、とてもエキセントリックでしょ(笑)。幸夫人とはもう10年くらい前から親しくさせて頂いていますが、普段から私の洋服しか着ないんですよ(笑)。私の服の一番いいところを理解してらっしゃる方のひとり。個性の強いデザインほどお好きなようで、ご主人の由紀夫さんの後援会などに私のプレタポルテを着て行っては、踊ったり歌ったりしているようです。それを由紀夫さんも微笑ましく見ていらして「家内がこれからヒロコさんの服でファッションショーをやります」などと冗談におっしゃるので、後援会の人達はみな、私の服のことを知っているんですよ(笑)。

彼女はファッションにとても興味がある上に、ちゃんとした心得のもと、いつもセンス良く着こなして下さいます。先日のような海外の公の場でも、シチュエーションにあわせて上手に選んで下さっているのには「なるほどなぁ」と感心しました。随分前のコレクションでクラシックなタイプの服でしたが、海外でも堅い席では新し過ぎる服は通用しないということを良く知っている。逆に、少し華やかさを出さなくてはいけない場面では、光沢のあるサテンを選んだり、ブローチを付け替えたり、とメリハリを利かせていました。

日本ではどうしても、ファッションの中心は若い人達で、大人のファッションが置き去りにされがちな残念な状況の中、彼女のような大人の日本女性が洋服をしっかりと理解し、自分のものとして堂々と着こなしてくれるのは、とても嬉しいことです。単に彼女が私のものを着てくれたから褒めているのではなく、日本にも大人のファッションがちゃんと存在して、それをきちんと着こなせる、グローバルな感覚をもった女性達が沢山いるのだということを、今回、彼女が身をもって世界に示したと思います。

そんな女性達のために、私はこれからもコレクションを続けていきたいと思います。



GUY LAROCHE ギ・ラロッシュ【Marcel Marongiu／マルセル・マロンジュ】

㈱伊藤忠商事 ギ・ラロッシュ事務局 ☎03(3497)



砂を敷き詰めたランウェイにバイク音が轟いて幕開けを告げたマルセル・マロンジュによる3シーズン目のギ・ラロッシュ。サンドグレーやアースカラー、砂漠のような表面感をもつツイードなど、パリ・ダカールのレーサーのようなスタイルを、得意のドレープやボディコンシャスなシルエットで洗練。シャーリングで体にフィットさせたラフなジャージードレス、コンパクトなバイカーブルゾンにはメッシュのTシャツとショートパンツを。ハードな金属製アクセントやタイダイのプリントもさりげなく添えられた。



















㈱三共生興ファッションサービス☎03(6418)0783

親日家のダニエル・トリブイヤールが今回選んだモチーフは伊万里焼。その高貴な美しさに魅了され、コバルトブルー、ネイビー、インディゴなど様々なトーンのブルーに、太陽の光の白を組み合わせ、爽やかな夏のスタイルを提案する。肩パットとシャーリングでプロポーションを変化させたシルクジャージードレスの上では、カメリア(椿)、ポピー、ダリア、中国の桜などあらゆる花のプリントが百花繚乱に咲き乱れる。アースカラーのエスニックプリントにはラスティックな風合いのマクラメツイードを合わせた。












問モンクレール
☎03(3486

MONCLER GAMME ROUGE モンクレール ガム・ルージュ

【Giambattista Valli／ジャンバティスタ・ヴァリ】



3つのテーマごとに部屋を分け、新作を披露。第一の部屋は「鳥」をテーマに、羽根のプリントと雉（キジ）などのリアルフェザーを刺繍であしらい、黒と白でシックに。本物の芝生を植え、苔庭のような湿気に包まれた第二の部屋はシェイクスピアの『真夏の夜の夢』のイメージ。マラカイトなど鉱物のアースプリントをのせ、グリーン一色で幻想的なムードに。第三の部屋は花やフランボワーズ(木苺)からとった「赤」。花びらの刺繍を施す過程を、10体のダウンジャケットで表現したシリーズが圧巻。















VIONNET ヴィオネ

【Rodolpho Paglialunga／ロドルフォ・パリャルンガ】

"布の彫刻家"と呼ばれたマドレーヌ・ヴィオネにより1914年パリに創設された老舗メゾンを、今年2月、イタリアのマルゾットグループが買収。パリ装飾美術館で現在開催中の回顧展に加え、今シーズンよりコレクションを本格再開、パリコレメンバーとして復活を遂げた。「アーカイブにこだわることなく新しいヴィオネを創造したい」と抱負を語るクリエイティブディレクターのロドルフォ・パリャルンガは13年におよぶプラダでの経験を生かし、モダンアートのようなカラーブロックや３Ｄ刺繍をあしらったドレス、フリュイッドなドレープを生かしたミニ丈のラップスカートなどを、プレゼンテーション形式で披露。小物も含めたトータルルックで提案した。













RISTIAN LOUBOUTIN クリスチャン ルブタン

問クリスチャンルブタン ジャパン☎03(5210)3781

ソールのセクシーなシューズで世界的人気
ルブタンがこの秋、念願のジャパン社を株式
オイと共に設立。来年２月の銀座松屋を皮
今シーズンより本格上陸を果たす。アフリ
ンスピレーションを採り、パイソンに"デザー
ーム"ペイント、マサイ風のカラフルな色使い
学模様のほか、パナマ素材やブラックレー
ベンダーやコーラルのパステルカラーパテ
ど。金のスタッズスニーカーは店舗限定品。













ORTO MOLTEDO コルト・モルテド

代の人気歌手リック・スプリングフィールドの
sie's Girl」のビデオクリップからインスパ
されたという新作"ジェシー"をはじめ、エ
ベス１世のフリル衿からとった"エリザベス"、
のレザーアップリケをした人気の"サンダー
ー"にビッグサイズのクラッチが加わり、キャ
ス地にタイダイ、パイソンなど80sテイストで。
レザーで作られたシグネチャーの"プリシ
は新色ピンクが登場。展示会場で披露された、
注の気鋭のジュエリーデザイナー、トム・ビー
とコラボしたプレシャスな４作品が話題に。














CARVEN カルバン【Guillaume Henry／ギョーム・アンリ】





若きホープ、ギョーム・アンリを迎えてフレッシュに生まれ変わったカルバン。先ごろオートクチュール部門は閉鎖したものの、創立当初から引き継がれるメゾンの精神をコンテンポラリーに表現したプレタポルテで新たなマーケット進出を目指す。今シーズンは創始者マダム・カルバンデザインによる1960年代のデイドレスがインスピレーション源。イヴニングの優雅さを保ちながらスポーティなコットンで仕立てられたそのドレスを現代に再現すべく、上質のコットンシャージーやツイード、ポップカラーのアーカイブプリントを軽やかなデイリーアイテムに展開。ボディコンシャスやランジェリーなどトレンドも程よく取り入れ、さりげなく生かされたクチュールディテールも魅力的だ。





◆Guillaume Henry
（ギョーム・アンリ）

1978年フランス、ディジョン生まれ。パリのBeaux Artsでアートの基礎を、Esaa-Duperreでデザインを学ぶ。IMF(Institut Français de la Mode)で学位を取得。2002年「ジバンシィ」でインターンを経て、2004年までセカンドラインとフォーマルラインのデザインを担当。その後、リカルド・ティッシのファーストアシスタントに。2006年より「ポール カ」のチーフデザイナーとしてコレクションに関わる全てを担当。2009年「カルバン」のアーティスティック・ディレクターに任命され、今回の2010年春夏コレクションで正式デビュー。



2010春夏取り扱いショップ/新宿伊勢丹、バーニーズ神戸、ストラスブルゴ青山店

マスターライセンシー　東レ(株)ファッション事業企画部　〒279-8555 千葉県浦安市美浜 1-8-1 TEL 047-350-6208

井上清(株)/紳士服　木下物産(株)/毛皮　(株)東京ソワール/婦人フォーマルウェア

東レ・ディプロモード(株)/水着　細井商事(株)/紳士服地　(株)ラピーヌ/Lサイズ婦人服

BACKSTAGE hair & makeup report 2010ss Paris Collection

今シーズンもパリコレのバックステージから
最新ヘア&メーク情報をお届け。





DIOR

Hair by Orlando Pita, Makeup by Pat McGrath

ライラックやピンク、オレンジ、グリーンとディオールらしいパステル系アイシャドーでエレガンスを浮き彫りにした今シーズンのメーク。鮮やかな赤のリップカラーでラインを生かしながら描いた唇がグラマラスだ。若き日のローレン・バコールをイメージしたというブロンドの巻き髪に、形良く引いた長い眉がマスキュリン・フェミニンな魅力を醸し出した。













目頭からアイホール全体をディオールらしいパステルカラーで彩って。アイラッシュと漆黒ライナーもお約束。











サイドパートから流れるヘアに、グラマラスにカールを施して1940年代のハリウッド女優風のスタイル。





コンシーラーで唇の元の形を消し、リップブラシで形よく赤をのせる。

CHANEL

Hair by Sam McNight, Makeup by Peter Philips

ヴェルサイユ宮殿にあるプチ・トリアノンのような素朴な田園風景をセットにしたシャネルのコレクション。わざと後れ毛をいかした、ふんわりアップにしたまとめ髪に幸運のシンボル、麦の穂のゴールドブローチを飾って、休日にくつろぐマリー・アントワネットをイメージ。メークにも、ブラウンシェードにぶどうのような深いパープル、アプリコットやゴールドの色使いで、温かみのあるナチュラル感が表現された。メゾンのアイコンであるパールやチェーンをモチーフにしたタトゥが話題に。



リコットやゴールドなど血色よく見える
ーをブレンドして、ふっくらお人形のよ
顔に。



シャネルのアイシャドー、レ キャトル オンブルのカスカ ベージュを使って仕上げたアイメイク。温かみのあるナチュラルな目元に。



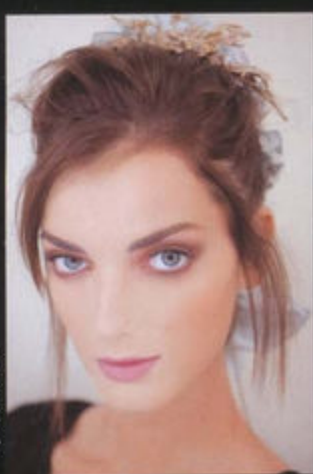


今シーズンのメークはボディタトゥがポイントに。デコルテに描かれた図柄は、幸運のシンボルである小鳥がシャネルのパールチェーンネックレスをくわえているというもの。本物のネックレス以上の存在感。





にもチェーンとパ
のブレスレット風タ
。ネイルは新色パ
キュリエール（グレ
かったトープ）。



全体にヌードカラーを使ったメークが上品。サテンのような透明感をもつ肌に仕上げるため、ファンデーションにはシャネルのプロルミエールを使用。



GIVENCHY

r by Luigi Murenu, Makeup by Aaron de Mey

きりラインを際立たせた存在感ある唇にポイントを置いた今シー
のジバンシィのメーク。カラー剤でブリーチした眉をあえてその
生かし、目の周りはブラウンなどアース系カラーをシェーディング
、上目遣いな表情に。ヘアは丁寧に整えたセンターパーツのスト
トでシンプルかつストイックに。





クールな黒髪のショートボブ。アースカラーの目元と赤い口元が引き立つ。

自眉をカラー剤でブリーチするのがここ数シーズンのトレンド。



注目のモデル、ラニヤ



輪郭をクリアに描いた赤い唇も今シーズンは人気。

ロングヘアのモデルにはタイトなセンターパートのストレートで。



DRIES VAN NOTEN

Hair by Julien d'Ys, Makeup by Peter Philips

なめらかな質感の肌に血液の通うような太く濃い眉を描いたシンプルで健康的なドリスのメーク。眉は強くなりすぎないようブラウン系パウダータイプを使い、肌色に近いピーチ系のシャドーやリップを。コンパクトなまとめ髪には、今シーズン一番人気だった、プールからあがったばかりのようなヘビーウエットな質感を。あらかじめ髪全体につけたウエーブが隠し味に。







両手のひらにジェルをたっぷりのせ、フロントからサイドの髪はコームの跡がつくようにタイトにオールバックで仕上げ、後ろで毛先をねじってピンとドライヤーで固定。スーパーウエットな質感を出すのがポイント。







リキッドファンデ+お粉でシアーな透明感ある肌に。





ウエットに仕上げたヘアにアイロンでウエーブをつけていく。

眉メークに歯ブラシも活用。







ピーター・フィリップスによるメーク。彼がディレクターを務めるシャネルの製品がメインで用いられた。





この春夏のネイルはあえてダークカラーを選ぶのがイン。







(左)ブラウン系カラーで太く濃いアイブロウを描いていく。ラインは少しずつ描き足していくのがキレイに仕上げるポイント。
(上)日本人モデル、Taoは今シーズンも超売れっ子。



モデルの肌色にあわせて黄み、赤みなど様々なトーンで用意されたアースカラーを、目元を中心に入れていく。





ラントタトゥ。エアブラシと手描きで[illegible]仕上げて。







ネイルもブラックやブルーグレーのダーク系で。





事前にカラースプレーで文字の出方を確認。





JEAN-PAUL GAULTIER

Hair by Guido, Makeup by Diane Kendall

腕や首すじなど体中いたるところにエアブラシでタトゥを入れ、HIPHOPディーバのスタイルを模した今シーズンのゴルチエ。ヘアは、コーンローやワッフルのポニーテールでアフロ&ウエットにまとめ、バンダナやキャップをコーディネート。アイメークにもレッド系ブラウンなどのアースカラーを用いてアフロな雰囲気に。



アイラインは目元の引き締まる黒をチョイス。



ハケにたっぷりのせたジェルでウエットな質感に。



エクステを使ったコーンローに注目。



ポニーテールスタイルにはワッフルのエクステを。

SUMORI CHISATO

Hair by Eugene Souleiman, Makeup by Peter Philips

春らしいパステル系カラーでキュートに仕上げたツモリのメーク。目の下に一本だけ入れた発色の良いカラーアイライナーがインパクト大。頬を広めに染めるショッキングピンクのチークでコントラストを。後れ毛をいかしたゆるいまとめ髪には、トップとバックの2か所にツイストを施して、カラフルなコサージュを飾ってキュートに。





ショッキングピンクのフェイスカラーを頬に広めに入れ、指の腹でふんわりのばす。















太さの異なる同系色のペンシルを使って目の下にラインを入れていく。始めは細めのペンシルで下まぶたに一本のラインを。次にやや太く濃度のあるライナーを目の際に。平筆の平らな部分でなじませる。再び色を重ねて明確なラインに。







分け目に布を当て固定しながら、ストレートアイロンで伸ばした髪をツイストしていく。ヘアスプレーで後れ毛をタイトにキープ。



リップカラーにもショッキングピンクを。平筆を使って輪郭を描きながら、色をのせる。









後ろの髪は低い位置でひとつに束ね、上向きにツイストしながら毛先を内側に巻き込んでいく。お箸を利用したヘアさんお手製の巻き髪機（下）が活躍。











ふでペンのような漆黒のアイライナーで、アイホールをなぞるようにアーモンドシェイプに描き、その両端から中央に向かって黒を塗りつぶす。はみ出たラインを綿棒で丁寧に拭き取りながら、パーフェクトなラインに。



ネイルもブラックで統一。





様々なフォルムのブラシを巧みに使い分けることで、よりナチュラルな肌に。



売れっ子モデルほど目の下にクマが。コンシーラーで丁寧にカバー。



アイホールにはベースとなるダーク系シャドーを。



ク調のアイメ
やわらかく見
う、眉はナチ
カラーでソフ
ーンダウン。





クリーム状のアイライナーを筆にとり、切れ長なラインを。

VALENTINO

Hair by Luigi Murenu, Makeup by Pat McGrath

コンサバなヴァレンティノが今シーズンはミステリアスでアンニュイなムードに変身。エクステを使ってふんわりさせたロングのおろし髪は、アイロンでランダムに巻きを入れて、風に吹かれたようなゆるい仕上がりに。目元強調のメークは漆黒ライナーでアイホールを塗りつぶし、ピュアな素肌感あるファンデとコントラストをきかせてゴシックフェアリー調に。



カールアイロンやドライヤーで髪全体に豊かなボリューム感を。





エクステンションはバックステージヘアの必需品。





髪の表面だけでなく内側にもカールを入れ、ハーフ[illegible]な質感に。





LANVIN

Hair by Guido, Makeup by Pat McGrath

今シーズンもランバンのメークは黒目を際立たせた、シックで大人っぽいスタイル。カラーリングで自眉を消し、漆黒のリキッドアイライナーを、細筆を使って丁寧に目の周りを囲むようにして入れ、チャコールグレーのアイシャドーをまぶたに。ウエットな質感のグロスをのせ、ミステリアスな奥行き感を。ヘアは高い位置でまとめたら、地毛と同じ色のウィグをふんわり巻きつけ、ボリュームのあるシニヨンに。



バックステージを訪れたアナ・ウィンターとフォトコールに応えるアルベール・エルバス。



カラー剤で自眉をブリーチした後、毛並を整える。

リキッドファンデとコンシーラーを筆で丁寧に伸ばして、なめらかさのあるパーフェクトスキンに。



仕上げにブラックのボリュームマスカラを上下まつ毛にたっぷりと。



[illegible]の目メーク[illegible]使い分けて[illegible]インを。シャドーは始めにまぶたのくぼみに[illegible]ぶす感覚[illegible]



まぶたのくぼみに細かな線をザギザに入れ、そのラインをかすように、上からブラシの先でアイカラーをのせてい



ショートヘアはシャワーを浴びた後のようなスーパーウエットな質感に。コームにジェルをのせ、丁寧にとかしつける。

髪の長さが足りないモデルにはエクステをプラスし、適度な長さにカットする。



トップの位置でポニーテールに束ねて、スプレーでタイトに。



ソフトクリームのように、ふんわり泡立ったシニヨンでキュートに。








アイメークにもチークにも、たっぷり広い範囲にカラーパウダーをのせる。



はブルーやパープル、ンの寒色で。頬と口元クや赤で華やいで。



アイカラーはこめかみまでのばして。




カメラ付き携帯で遊ぶバックステージでのヴィクター&ロルフ。



コレクション会場で配布された香水の新作「Eau Mega（オメガ）」。





赤いリップペンシルで輪郭を描いた後、紅筆に同色の口紅をのせて、輪郭の内側を丁寧に塗りつぶす。



目の下のラインにもカラーを。

VIKTOR & ROLF

r by Luigi Murenu, Makeup by Pat McGrath

りどりのパウダーカラーで彩った虹色メークが印象的だったクター&ロルフ。ブリーチした眉の上と目の周り、目頭と目の頬骨の高い位置にと3、4色の異なる色でグラデーション。唇やかな赤を、ラインをくっきり描いた上にのせて。ヘアは、前立ち上げたまま直角に固定し、その下に両サイドの髪をすっ納めて隠す。トロンプルイユ風のまとめ髪がユニーク。



色鮮やかなアイメークをより一層際立たせるために、眉をブリーチ。



ックなストヘアをロンの熱定した高とめ髪。

下の結び目には黒光りするテープでリボンを。





オールバックにした前髪を、刈り込んだ稲穂のようにアイロンで立たせて直角に。



両サイドのヘアはゴムでしっかり固定し、結び目を覆い隠すように前髪をおろす。





1本の後れ毛も許さない、ヴィクター&ロルフらしいパーフェクトなまとめ髪が完成。





下準備にパートごとに分ける作業が美しいヘアの決め手。毛束にボリュームが出るよう細かなワッフルを。

前髪にアイロンで角刈りのような形状をつける。

同じクリームタイプでも、つやとうるおいを重
たい人におすすめのエッセンスイン。ドクダ
キスやキシリトールなど肌荒れの防止に効果的
肌機能そのものを高める美容液成分を贅沢に配
カバー力に優れながらも使い心地は軽やか。
が経つとちりめんジワが目立つという乾燥肌
には特におすすめ。

<ディシラ ファインタッチベース（エッセンスイン
クリームファンデーション、25g・12,600円、全7色、
オールシーズン、SPF20・PA＋＋



肌の内と外に働きかける
Wエイジング機能ファンデーション

ディシラ
<ファインフォーカス>

撮影／友野 正

はり感が欲しい人におすすめの、リフティングパウダー配合のクリームタイプ。抜群の密着力で肌にぴったりフィットし、毛穴がきゅっと引き締まるような感触でさらりとした仕上がりに。長時間しっとり潤うのに化粧くずれしないとプロの間でもっぱら評判で、女優さんの撮影用メイクに用いられることも多いとか。

<ディシラ ファインタッチベースa>
クリームファンデーション、25g・12,600円、全7色、
オールシーズン、SPF20・PA＋＋



1日の半分、もしくはそれ以上の時間をともに過ご
いるファンデーション。しみやくすみ、毛穴など気に
部分をカバーするための“補正機能”はもちろん
けているだけで肌そのものを美しく整えてくれる“
ンケア効果”も欲しい…。そんな現代女性の要望
たす、大人の肌に嬉しいファンデーションが、ディシ
<ファインフォーカス>だ。美肌づくりにこだわるデ
ラならではの技術から生まれた3つのタイプのファ
ーションは、どれもカバー力が高いのに厚塗り感の
ナチュラルな仕上がり。贅沢に配合された美容
分が素肌へと働きかけ、つけている間じゅうずっと
がしっとりすこやかでいられるのを実感できる。ま
顔に立体感を与えるシェーディング効果や、はり感
たせるリフティング効果、顔の動きに合わせて自
伸縮する特殊なストレッチパウダー配合で、時間
ってもよれやくすみ、化粧くずれを最小限にとどめ
と、ベースメークとしての機能も多彩。肌を内側と外
ダブル整えるディシラの機能ファンデーション
毎日のベースメークがもっと楽しく。



皮脂や紫外線が気になる人におすすめのパクトタイプ。微粒子のパウダーが皮脂を吸着して酸化を防ぎ、明るく透明感のあるすべすべ肌に。抜群のカバー力でシミ・ソバカスを目立たなくし、紫外線や乾燥からも守ってくれる。クリームタイプに重ねても気にならない粒子の細かさが特長。

<ディシラ ファインタッチパクトa>
パウダーファンデーション、
12g・9,450円（ケース別売3,150円）、全7色、
オールシーズン・両用パクト、SPF26・PA＋＋



クリームファンデーションの仕上がりをより美しく、光り輝くものに仕上げる粉おしろい。やさしいベビーピンクの微粒子パウダーで、光をふんわり包み込むように反射しながら、気になるしみや毛穴、小じわをしっかりカバー。保湿機能にも優れ、肌表面を上質のシルクのようになめらかに整える。

<ディシラ ファインフィニッシュパウダー>
粉おしろい、30g・10,[illegible]円（レフィル7,350円）、1色

Congratulations

LONDON FASHION WEEK

2010 spring & summer




ペットブームで子犬も立派なアクセサリーに。ヴィヴィアンのショーより。


ピーター・ピロット フィナーレより。



シエナ・ミラー姉妹（下2人）のショーではベテランモデルのトリッシュが久々に復帰。

クリストフ ケーンの ーより。

ロンドン・ファッション・ウィーク（以下LFW）を主催するブリティッシュ・ファッション・カウンシル（以下BFC）の創立25周年にあたる今シーズンは、9月18日に開幕し、メンズデーである最終日の23日まで6日間にわたって開催された。バースデイプレゼントとして、英国を代表する2大メゾン「バーバリー プローサム」と「プリングル オブ スコットランド」がミラノから数年ぶりに本拠地ロンドンに発表の場を戻し、それに伴い、普段あまりLFWを訪れることのない世界各国の雑誌編集長やバイヤーたちが、ミラノ行きのついでにロンドンに立ち寄ったことで、ここ数年減少傾向にあった来場者数の下降にいったん歯止めをかけた。会場もこれまでのサウスケンジントン地区から、テムズ河を東に進んだ「サマセットハウス」の由緒ある建物に移転、25周年を機に新たな思いでスタートを切った。初日朝には、LFW展示会場内で、帽子デザイナーのスティーブン・ジョーンズによる「HEADONISM」と題したオープニングイベントが催され、レディスの最終日夜には、バーバリーがショーに続いてゲストたちを完成間もない新社屋へ招待、お披露目を兼ねての大規模なパーティを開いた。

参加デザイナーの顔ぶれも新鮮だ。しばらくニューヨークに進出していたジョナサン・サンダースやテンパリーが地元ロンドンに戻り、サス&バイドやジェレミー・スコット、アントニオ・ベラルディ（デビューはロンドン）やバランタインといった他都市からの移動組も増えた。なかでも、一時活動を休止していたクレメンツ・リベイロが見事な復活を遂げ、プレゼンテーション形式で新作を発表したのは喜ばしいニュースだ。もともと地元でも人気の高かったブランドだけに、会場前には多くの人が集まり、彼らの注目度の高さを物語った。ガレス・ピューに続いて今年度のANDEM賞に輝いたジャイルズは、パリコレに招聘されたため欠場（P.64）となったが、続々と新人が育っているロンドンでは、もはやスターの格さえそなえたクリストファー・ケーンを筆頭に、ロマンティックなドレスで評判のアーデム、次期「ホルストン」（ニューヨーク）のデザイナーに抜擢されたマリオス・ショワブ、アントワープで学んだ2人組ピーター・ピロットあたりが著しい成長を遂げている。新人サポートのシステムもますます充実し、トップショップ、ロンドン開発局に続いて、英国ヴォーグによる若手奨励のためのファンド（基金）が来年度より始動することも決定した。

このように25周年という節目にふさわしい、華やかな話題に事欠かないシーズンにすることができた主催者BFCの努力には、改めて拍手を送りたい。日本では、政府から年間単位で資金援助を得られても、東京コレクションを世界に向け今ひとつアピールできていないことを思うと、お金だけでなく国際的に影響力の大きい人物を動かせるだけの政治力に長けた英国には、見習うべき点が沢山あるように思う。ただ、キャットウォークが盛り上がりを見せた一方で、おもに海外バイヤー向けに催される併設展示会場の出展社数が、世界的経済不況のあおりを受け確実に減少、内容的にも魅力に欠けた点は否めない。これまでコンスタントに参加してきたブランドからも、今シーズンはあまりのお粗末さに苦情が出ている模様だ。長年批判され続けてきたことだが、今後LFWが新人の登竜門としてだけでなく、ビジネス面でも魅力ある場に成長できるかが課題となるであろう。次シーズン以降もサプライズ溢れるLFWに期待している。

Photo / Hirokazu Ohara Text / Yachiyo Ya

BURBERRY PRORSUM バーバリー プローサム【Christopher Bailey／クリストファー・ベイリー】



ロンドンファッションウィーク25周年のお祝いと新社屋の完成お披露目も兼ね、9年ぶりにミラノから戻ってきたバーバリー プローサム。「ロンドンはファッションだけでなく、デザイン、建築、グラフィック、音楽とあらゆる面で刺激的」（クリストファー・ベイリー）と、意欲的なコレクションで華やかにトリを飾った。アイコンのトレンチコートはミニスカートの発祥地ロンドンらしいマイクロミニで統一。シフォンやジャージー、サテンのドレッシー素材をツイストやドレープ、シャーリングで巧みに操り、レモンやライム、ラベンダーなど全体をパステルカラーで包んで、80sの強いムードをやさしく仕上げた。ウエストはベルトマークし、足元は素足にルーズソックスとプラットフォームサンダルでフレッシュに。

㈱バーバリー・インターナショナル
FREE0120(046)225























CHRISTOPHER KANE クリストファー・ケーン

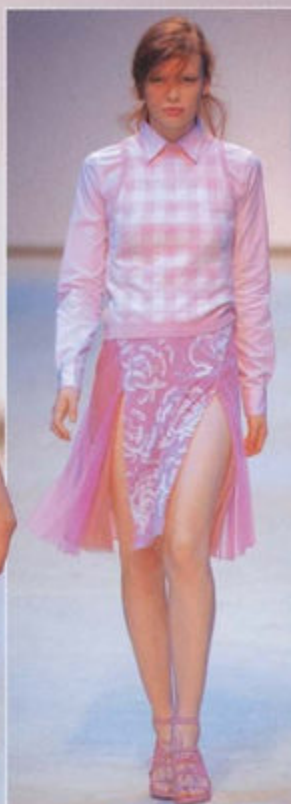
今シーズンは「ヴェルサス」のデザイナーとしてミラノデビューも果たすなど、ますます大忙しのクリストファー・ケーン。ドナテッラ・ヴェルサーチがフロントロゥで見守るなか披露した新作は、オフホワイトとネイビーをベースに爽やかなパステルカラーのギンガムチェックで彩った、健康的なセクシーさが際立つ上品なコレクション。ヌーディなコルセットを表に出しジャストフィットさせた上半身に、スリットが深く入ったプリーツスカートを。カシミアのカーディガンや刺繍入りのチュールドレスなど、素材、テクニックはより一層デリケートに進化。ロンドン一を誇る趣味の良さと表現力の豊かさで、ボディコンシャスをクリーンに、コンテンポラリーに洗練してみせた。



























PETER PILOTTO ピーター・ピロット

【Peter Pilotto & Christopher De Vos／ピーター・ピロット&クリストファー・デ・ヴォス】

アントワープ王立芸術学院卒の注目のデザインデュオ。オーストリアとイタリアの血を引くピーターがプリントとテキスタイルを、ベルギーとペルーの血を引くクリストファーがヴィヴィアン・ウエストウッドでの経験を生かしてドレープとシルエット作りを担当している。今シーズンは、シルクのプリーツドレスにエンボスゴールドを、ドレープを効かせながら複雑に交差させたドレスをはじめ、ますます磨きをかけた作品群で圧倒。パイソンやツイードのトロンプルイユプリントを彩るグラデーションの色彩は、20世紀の画家フランシス・ベーコンの絵画にインスパイアされたもの。ボディコンシャスなラインにやわらかさを添えた。























ERDEM アーデム

【Erdem Moralioglu／アーデム・モラリオグル】

グラフィカルなフラワープリントに立体的な刺繍や繊細なレースをあしらったロマンティックな作風で、ロンドンの注目デザイナーとなったカナダ・モントリオール出身、ロンドン王立芸術学院卒のアーデム。今シーズンは、1910～30年代にファム・ファタルと呼ばれた人気女優ポーラ・ネグリがミューズ。サイレント映画を思わせるモノトーンに、日本のキモノの伝統的な色彩を取り入れ、シグネチャーの花に新たな表情を加えた。露に濡れた紫陽花を思わせるブルーサテンのカクテルドレスにブラックレースのアップリケ、リボンの花びらを細かく散らしたリトルブラックドレス。初登場のサングラスも服とお揃いのフラワー柄で。







VIVIENNE WESTWOOD RED LABEL

ヴィヴィアン・ウエストウッド レッドレーベル

「ウエストミンスター・ピアからボートに乗り、テムズ河を上ってハンプトンコート宮殿まで旅する」イメージで綴られた今回のコレクション。インスピレーション源は、イタリア・ルネッサンスの画家マンテーニャの連作「カエサルの凱旋行列」やクラシック音楽、また日曜の朝にテラスで寛ぐチェルシー(ロンドンの高級住宅街)に住む貴婦人の姿など。英国庭園に咲く花々を淡い色彩やプリントで描き、英国の伝統素材やオートクチュールドレスのシルエットを取り入れ、シャツドレスやカーディガン、サイクリングパンツなどリラックスウェアに英国調テーラードを組み合わせた。また、ファッションを通して環境保護を訴える「+5°」推進活動も継続。

問ヴィヴィアン・ウエストウッド インフォメーション
☎03(5791)0058





















PRINGLE OF SCOTLAND

プリングル オブ スコットランド

【Clare Waight Keller／クレア・ワイト・ケラー】

ミラノから10シーズンぶりにロンドンに戻ってきたプリングル。サーチギャラリーを会場に、今回の作品づくりのミューズとなった、メゾンと同郷のスコットランド出身の女優ティルダ・スウィントンをモデルに撮影されたショートフィルムを上映した後、ショーがスタート。オーガニックなテクスチャーを意識したというコレクションは、淡いグレーの内側にブライトイエローをさし、トレードマークのケーブルニットを高度な手編みの技で3D(立体)に、アーガイルはラダー(はしご)をモチーフにしたプリーツでグラフィカルに。

問PMD JAPAN
☎03(5212)1816







TWENTY 8 TWELVE by S.MILLER

トゥエンティー エイト トゥエルヴ バイ エス・ミラー

人気女優シエナ・ミラーと姉サヴァナのデュオによる2シーズン目のコレクション。インスピレーション源は、アフリカを代表する写真家マリック・シディベの作品や、50年代の米国アラバマ州で起こった黒人反乱事件、映画「Badlands（地獄の逃避行）」など。ブリーチデニムのアイテムや、日焼けした肌をおしげもなく露出したマイクロショーツは、米国"ディープサウス"と呼ばれる人種差別が根強く残る地域で行われていた綿花栽培のファーマーたちの装いと、現代ロンドンガールのボヘミアンなストリートスタイルをミックスしたもの。プリント柄はジャクソン・ポロック、ヴィレム・デ・クーニング、ルイーズ・ブルジョワといった抽象芸術家の作品に影響を受けたとか。

問ブルーベル・ジャパン
☎03（5413）1050







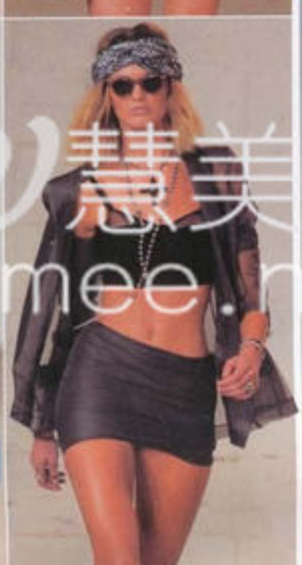












マリオス・ショワブ

次シーズンからニューヨーク「ホルストン」のデザイナーに決定しているマリオス。得意の数学的視点を生かし「3」に注目したという今回は、美と愛と豊穣をつかさどるギリシャ神話の3女神、ヴィーナス、ヘラ、アテネをテーマに、ダーツやプリーツ、ドレープなど伝統的なテクニックを駆使。シフォンやオーガンジーなど紙のごとく薄く柔らかな素材でグラフィカルなフォルムをつくり、スワロフスキークリスタルや目の細かいチェーンメイル（鎖かたびら）など異素材を組み合わせて「3次元」の世界を軽やかに、個性豊かに表現した。

MARIOS SCHWAB



PAUL SMITH WOMEN

ポール・スミス ウィメン

アフリカ・コンゴの民族"バコンゴ"の伊達男たちをスナップしたイタリアの写真家ダニエル・タマニの作品集「ジェントルマン・オブ・バコンゴ」に触発された今回。冒頭に、アンドロジナスな黒人モデルがショッキングピンクのメンズスーツに真っ赤な帽子をかぶって颯爽と登場した。アースカラーと鮮やかなブライトカラー、アニマル柄やマサイ調ストライプなどアフリカのプリミティヴなモチーフに英国伝統のチェックやレジメンタル、チェッカーフラッグをミックス。シャツの胸元に重ねたカシュクール・ブラや背中でツイストしたカーディガンなど工夫を凝らしたアイテムも。

問ポール・スミス ジャパン
☎03（3486）1500











MARGARET HOWELL

マーガレット・ハウエル

シンプルな白いシャツの胸元をはだけ、マドラスチェックのブラトップ、ブルマー型のショートコンビネゾンにグレーニットのカシュクール、赤いストライプのベアミドリフTシャツとプリーツスカートなど、上質なリネンやコットンを多用し、50年代調の清楚でノスタルジックなエレガンスを、マリンテイストを加えて都会的に洗練。潮風をまとったような涼しげな印象がひときわ際立った。





問マーガレット・ハウエル／アングローバル☎03(5467)7864



ELEY KISHIMOTO

イーリー・キシモト

【Mark Eley & Wakako Kishimoto／マーク・イーリー&岸本若子】

インテリアや日用品から着想を得たという今回は「BEYOND THE CHINTZ（チンツ＝カーテン等に用いられる綿素材）」と名付けたコレクション。万華鏡を思わせる幾何学模様、ポップカラーのボーダー、鳥の羽根、竹や花の植物モチーフを自在に組み合わせて一枚の服に。全体にリラックスしたシルエットのアイテムが中心。ルーズソックスと革サンダルの足元も、ゆるいムード。

問ELEY KISHIMOTO／☎0570(064)124







CLEMENTS RIBEIRO

クレメンツ・リベイロ

【Suzanne Clements & Inacio Ribeiro／スザンヌ・クレメンツ&イナシオ・リベイロ】

経営的苦難から暫く活動を休止していたクレメンツ・リベイロが8シーズンぶりにコレクションに復帰。25周年記念にふさわしいハッピーな話題を振りまいた。プレゼンテーション形式で披露した作品は、アンディ・ウォーホルを思わせるタッチで描かれた猫[illegible]グラフィカルなモチーフのマリンボーダー、スコティッシュカシミヤを用いた[illegible]ガイルのインターシャや、フランス製シル[illegible]ールのクラシカルなパフスリーブドレス[illegible]の目やお花の形をした[illegible]やアップリケにはジップテープとパールを組み合わせるなど、凝ったディテールにも彼らしさがうかがえる。ビーハイブヘアとアイラインを強調したメイクで強さを。





CHARLES ANASTASE

シャルル・アナスタス

銀のモアレと赤いチュールを重ねたペチコートスカート、クロップ丈のトレンチコートとワイヤー入りのフープスカートで作るテントシルエット、ジュートの硬さをそのまま生かして仕立てたサロペットには、黒いグログランリボンのサスペンダーを。ルーズにアップした髪と、ずれ落ちそうなほどに大きなサングラス、ぽっくりのようなプラットフォームシューズを履いて、おぼつかない足取りで登場するモデルたち。パンクなガールズテイストは健在。

問Diptrics（ショールーム）☎03(3409)0089



TODD LYNN

トッド・リン

いつものすっきりシンプルなテーラードスタイルから、デコラティブでダーティなイメージへと変化した今回は、自身でも「不慣れな分野への第一歩」という。ドレープを多用したアンストラクチャー（非構築さ）への挑戦がテーマに。コンケーブショルダーのベストとシアーなドレープニットの重ね着、ヴィンテージリネンやワイルドなホースヘア、伸縮性のあるチェーンメイル（鎖かたびら）に頭や腰を覆う巻き物など、アフリカ・サハラ砂漠の遊牧民トゥアレグ族の女王ティン・ヒナンの装いがインスピレーション源に。






RICHARD NICOLL

リチャード・ニコル

洗いをかけニュアンスを出したスモーキーグレーやピンクに、ボタニカルプリントをのせたトロピカルなアイテムが印象的な今回のインスピレーション源は、19世紀末のタヒチ島を写した写真集。現地女性がまとうパレオドレスのようなドレープ感や、色柄をミックスする自由な感覚を取り入れながら、フリンジやメタリックなラメ素材、バンテージ風ストラップ（肩ひも）をアクセントに、実用性ある大人のリゾート着をめざした。






JEREMY SCOTT

ジェレミー・スコット

パリコレに参加し、フランスのバッグブランド「ロンシャン」とのコラボでも知られるジェレミー・スコットはニューヨークで学んだアメリカ人。今回のロンドン初参加は、カーナビーストリート近くにオープンした、アディダスとのコラボによるポップアップ（期間限定）ショップのお披露目のため。漫画「フリントストーン」に着想を得て、「Bone to Be Wild」と改題。石器時代の衣服さながらギザギザカットしたTシャツドレスに、骨や肉食獣をモチーフにしたプリントを、ポップカラーにのせて。





JONATHAN SAUNDERS

ジョナサン・サンダース

2年ぶりにニューヨークから本拠地ロンドンに帰ってきたジョナサン。アメリカではセレブにも人気のディスカウントストア「ターゲット」とコラボするなど新境地開拓にも成功した。トレードマークであったカラフルなグラフィックプリントはぐっと少なくなり、代わりに、白やペールカラーを基調に、ひざ上丈のプリーツスカートや蛍光色シフォンを重ねたドレスなど、素材も色使いも全体にソフトで軽やかな印象へと変化した。





SASS & BIDE

サス アンド バイド

【Sarah-Jane Clarke & Heidi Middleton／サラジェーン・クラーク＆ハイジ・ミドルトン】

長らくニューヨークコレクションに参加していたオーストラリア出身の女性デザインデュオ。もともとジーンズでブレイクした思い出深い場所であるロンドンで、ブランド創設10周年を機にキャットウォークを初披露。アルゼンチンへの旅行がインスピレーション源というコレ[illegible]は、[illegible]の刺繍で飾ったタイトな[illegible]ップス[illegible]クチョ[illegible]を思わせ[illegible]スとの組み合わせが中心。黒と白のモノトーンでアステカ伝来の幾何学模様をクールに。






Hair Room Service by JOHN NOLLET in Tokyo

パリのヘアアーティスト、ジョン・ノレによるヘア ルーム サービス



パリを拠点に活動するジョン・ノレは1990年代のフランス映画界でブレイクし、
今では世界トップクラスの女優達を魅了する売れっ子ヘアアーティスト。
彼の提案する「ヘア ルーム サービス」とは、
ホテルのスイートルームでルームサービスさながらにヘアドレッシングをオーダーするという、
数々のセレブとの交流から生まれた、彼ならではの斬新なアイディア。
今年から始めた世界11都市をめぐるワールドツアーの一環で、
先ごろ「パーク ハイアット 東京」に来日を果たしたジョン・ノレ氏にお話をうかがった。



会場となった「パーク ハイアット 東京」最上階のプレジデンシャル スイートルームでは、ルイ・ヴィトンによる特製トランク（左奥）がヘアサロンのセット面へと早替り。

Q：まず、この職業に就いたきっかけを教えてください。

John Nollet（以下JN）：最初の記憶は、私が8歳の時、両親たちの何気ない会話の中から美容師という職業があるのを知りました。私の両親は美容とは全く関係のない仕事をしていましたが、ある時、母と祖母が美容院に行くというので私もついて行ったのです。それまで、美容師の仕事には興味がなかったのですが、初めてヘアサロンという未知の空間に足を踏み入れたとたん、その場に漂う空気や香り、そこで働く人たちといったもの全てに、あっという間に魅了されてしまったのです。2時間ほどすると、母と祖母が見違えるように美しくなって、嬉しそうにしているのにも驚きました。まるで魔法のように女性を美しく変身させてしまうヘアドレッサーという仕事に興味を持ったのは、その時でした。

15歳の時、私にとって最初のメンター（師）となる人物、モーリス・フレアル氏に出会いました。彼は、私がそれまで出会ったどのヘアドレッサーよりも素晴らしい人で、出会った瞬間にピンときました。彼のヘアサロンに来る女性たちは皆、素敵な方ばかりで、彼女たちがさらに美しくなってサロンのドアから出てくる姿に、私は非常に影響を受けました。ある日、私は彼に「お金はないけど、ヘアに対する興味と情熱は人一倍です。是非あなたの弟子にしてください」と直訴しました。フレアル氏は私の熱意を買ってくださり、毎日忙しい合間を縫って1時間半にわたり、仕事の基礎を教えてくれました。

そして17歳で、フランス南部のペルピニャンという街にある、フレアル氏の経営するサロンにヘアスタイリストとして移り、19歳の時には、同じく南部のモンペリエという街にふたたび移りました。

Q：モンペリエでサロン以外に活躍の場を広げることになるのですね？

JN：当時勤務していたサロンのそばにダンスカンパニーがあり、そこに所属していた1人の女性ダンサーと友達になり行き来していたら、ある時、そこの振付師から次の公演のヘアを担当してくれないか、という誘いを受けました。それは、その頃の私にとって夢のようなオファーでした。公演の内容はポップアートをテーマにしたコンテンポラリーダンスで、私もアンディ・ウォーホルやロイ・リキテンシュタインらの作品集などからヘアのイメージを膨らませました。この時の経験が、その後の私の人生に大きな影響を与えました。ヘアをパフォーマンスの中で表現していくことの素晴らしさを知り、また、ヘアが果たす役割がいかに重要かということも学びました。

Q：ダンスの舞台をきっかけに、オペラ、映画へと多岐にわたっていきますね？

JN：モンペリエのオペラハウスで最初に手掛けたのがモーツアルトの「魔笛」です。歴史もののオペラでは非常に美しいかつらを用いるのですが、オペラハウスのオートクチュールアトリエによる素晴らしい手仕事や作品に触れ、衝撃を受けたことは今でも忘れられません。そんな折、アラン・ドロン主演の映画「カサノヴァ 最後の恋」の撮影隊がモンペリエに1週間だけ撮影のために滞在するので、その間、現地でヘアアーティストのアシスタントができる人間を探しているということで、オペラハ[…]を通して私にオファーがきたのです。その時の私の役割は、脇役や[…]ストラのヘアを担当する仕事でしたが、映画がどのようにして作ら[…]のかを目の当たりにし、大きな感銘を覚えました。映画の撮影現場で[…]シーンごとに様々な分野、たとえばカメラや照明、メイク、衣装などの[…]フェッショナルたちが集結して、その場でひとつのストーリーに沿って[…]つの場面を作り上げていく。その工程がとても楽しく刺激的で、ヘア[…]ッサーとして沢山のことを吸収することができました。

Q：その後、22歳で今度はパリに移りますね？

JN：パリに移ったのは、フランスの有名な映画監督コンビ、ジャン=[…]ール・ジュネとマルク・キャロが、1995年に制作した「ロスト・チルドレン[…]いう作品のアートディレクター・オブ・ヘアとして私を起用してくれたの[…]っかけです。この時、私は初めてキャスティングの段階から携わり、[…]らしい才能を持ったクルーたちに囲まれ、仕事をしました。ちなみに、[…]作品の衣装はジャンポール・ゴルチエが担当し、彼とはこの作品で[…]緒したのを機にずっと親交が続いているんですよ。つい2カ月前（[…]も、ゴルチエの友人で歌手のミレーヌ・ファルメールのコンサートで[…]衣装、私がヘアを担当させていただきました。

Q：以後、女優さんたちとの交流も始まるのですね？

JN：パリに来て2つ目に携わった映画が「アパートメント」（1996年[…]初めてモニカ・ベルッチと会いました。以来、モニカとは現在も親交が[…]ます。その後も様々な映画でフランスを代表する女優さんたちのヘ[…]担当しましたが、中でも再びジャン=ピエール・ジュネ監督と組んだ「[…]リ」（2001年、オドレイ・トトゥ主演）が世界中で大ヒットしたおかげで、[…]世界進出への"パスポート"を得ることになりました。ハリウッドの新[…]画「NINE」（日本では来春公開予定）では、マリオン・コティヤール[…]頭に、ペネロペ・クルス、ニコール・キッドマン、ソフィア・ローレンと錚々[…]女優さんたちとご一緒しました。

シャンプーとヘッドスパは同室のラグジュアリーなバスルームにておこなわ[…]製品はすべてロレアルのプレステージブランド「ケラスターゼ」を使用。



リではご自身のサロンもオープンしました。

はじめてのサロンはパリのレ・アル地区にオープンしました。2002とです。ロレアルとのおつきあいも始まり、同社のアーティスティッスタイリストとしてお仕事をさせてもらったりもしていました。2006、パリのサントノレ通りにある「ホテル・コスト」と、スキーリゾートでクーシュベル(フランス・アルプス地方)の「シュヴァル・ブラン・ホテこサロンをオープンしました。「シュヴァル・ブラン・ホテル」は、ルイ・の親会社であるLVMHグループが初めて手掛けたラグジュアリテルで、それがきっかけでベルナール・アルノー会長と知り合い、、今回のワールドツアーに持参しているセット面と一体化したオリトランクをヴィトンで作ってもらうことにつながったのです。

オリジナルで製作されているヘアアクセサリーはどのようにして生のですか?

実はもともとは、お客様のひとりであるヴァネッサ・パラディのためにパーソナルなものでした。その時、彼女はロサンゼルスに長期滞いて、私にヘアカットのリクエストを頂いたのですが、私がパリからとが出来なかったので、どうしようかと考えたすえ生まれたアイディた。彼女の髪の色と同じエクステンションを使って、伸びかけのへとめるのに最適なヘアバンドのようなものをハンドメイドで作り、そい方などを書いたオリジナルのレシピを添えて、ロサンゼルスの彼ご自宅に送ったのが始まりです。とても好評をいただき、2年前のクスシーズンには、私のパリのサロンで一般のお客様向けにも販売ようになりました。シーズンごとに新作を出すといったコレクション形はなく、その時その時の気分やインスピレーションに従って、一つ一事にハンドメイドで作っています。世界に1つしかない、オートクチュのように貴重な1点ものです。

なぜ「ヘア ルーム サービス」のワールドツアーを始めようと思ったすか?

：これまでの15年間、映画や舞台の仕事に携わってきて、数々のセのために公私にわたりヘアの仕事をさせていただきました。彼女らっては旅をするのが仕事のひとつであり、それに伴い、私も彼女ら先に出向いて、ホテルの個室でヘアドレッシングを行ってきました





ヴァネッサ・パラディのリクエストから生まれたオリジナルのヘアアクセサリー。自然な髪色のエクステンションにパールを編み込むなど全てハンドメイドで作られる。

が、ある時、このホテルの個室という、私もお客様もお互いにリラックスした、非常にプライベートな空間で、誰にも何にも邪魔されることなく、クリエーションに集中し、親近感をもってサービスに専念できることに、この上ない心地よさを感じたのです。やがて、もし旅先のホテルで、ルームサービスでお食事を注文するように、ヘアドレッシングも注文できるようなシステムがあれば、世界中のおしゃれな女性たちにどんなに喜んでいただけるだろう、と考えるようになりました。そこから、ルイ・ヴィトンのアルノー会長や、フランスのロレアル本社、またパークハイアットのディレクターなど以前からお付き合いのあった方々に協力をお願いし、今年から念願のワールドツアーを始めることができました。

Q：「ヘア ルーム サービス」は具体的にどのように進められるのですか?

JN：このサービスは、世界各都市(今年は11都市)にあるパークハイアットホテルの、最もラグジュアリーなスイートルームで行います。まず、お客様にはお部屋でリラックスした雰囲気を味わっていただき、施術に入る前には必ずお客様のヘアスタイルに関するご要望をおうかがいします。カウンセリングののち、バスルームでロレアルのケラスターゼを使ったヘッドスパやロレアル プロフェッショナルのヘアカラーを体験していただき、再びルイ・ヴィトンのセット面に戻って、カット、セットで終了となります。さらにご希望のお客様には、ヘアアクセサリーもおすすめしています。仕上がりに関しては、私はどんなお客様に対しても、自然なテイストを心がけています。アーティスト色を前面に押し出すのではなく、あくまでお客様の魅力をより一層引き立てるのが私の役目だと思っています。自分でデザインしているヘアアクセサリーにも、自然な素材や色合いを選んでいるのはこのためです。アクセサリーが、身につける方のもともとの髪にナチュラルに溶け込めるように作っています。

Q：世界中に多数いるヘアアーティストの中で、ご自身の強みは何だと思いますか?

JN：パリをはじめ欧米、日本と世界中に才能豊かなヘアアーティストは沢山いらっしゃいます。ヘアと一言にいっても、その背景には様々な価値観があり、異なるとらえ方があっていいと思うし、実際、私自身も他のヘアアーティストたちや彼らのクリエーションから数々の感銘を受けて今日まできました。そんな中、自分にとってはヘアカットが最も重要なプロセスだと思っています。私が常日頃から大切にしている哲学は「正しいスタイルをお客様に提案する」ということです。正しいスタイルとはすなわち、女優さんがひとつの役柄を演じるのと同じく、その人その人のパーソナリティから学ぶ、ということです。ヘアスタイルは、服やバッグ、靴や装飾品より、もっと大事なアクセサリーだと思います。どんなファッショナブルな方でも、バスルームで裸になった時に唯一残されるのは、ヘアスタイルでしょう? そこで、その人ならではのパーソナリティが反映されていれば、ヘアは[illegible]なアクセサリーになるのです。むしろ、どんな素敵な服や装飾品よりも、ご自身を雄弁に物語るものがヘアなのではないでしょうか。そのお手伝いをするのに、私のこのワールドツアーがお役に立てば幸せです。



遠隔地の顧客には、ルイ・ヴィトンの特製ケースにヘアアクセサリーを収納(写真)。直筆のレシピを添えて、パリから発送する。

ジョン・ノレ 東京滞在記

ロレアル、パーク ハイアット ホテルズ、ルイ・ヴィトンの3社によるコラボレーションのもとスタートした、ジョン・ノレによる「ヘア ルーム サービス ワールドツアー 2009」。ドバイからスタートし、モスクワ、ミラノ、イスタンブール、ブエノスアイレス、シカゴと各都市を巡って、10月20日に7番目の都市となる"東京"へ到着した。会場となったのは、東京・新宿のランドマークホテル「パーク ハイアット 東京」の最上階にある、抜群の眺望を誇るVIP専用特別室"プレジデンシャル スイートルーム"だ。1週間におよぶ滞在期間中、ジョン・ノレはこの贅沢なお部屋に12組の日本のお客様をお迎えして、極上のヘア ルーム サービスを提供した。

10月21日 レセプションパーティ開催

日本到着の翌日は、今回のヘア ルーム サービスに参加するお客様とプレス(報道)関係者たちをお出迎えするレセプションパーティの日。当日朝のジョン・ノレは、この部屋を訪れる全てのお客様が心から満足して寛げるよう、部屋の模様替えから準備をスタート。まず、ヘア ルーム サービスに必要なツールをすべて収納したルイ・ヴィトンの特製トランクを、自らの指揮のもとベストなポジションへと設置。得意のアーティスティックなセンスを生かしながら、パリのアパルトマンを思わせるシックな空間へと塗りかえた。準備が整った後は、午後4時(お客様)、夜7時(プレス)と2回に分けて行われたレセプションパーティに出席。「ワールドツアーの一環として東京に来られたことを、光栄で嬉しく思う」と来賓への謝辞を述べた後、出席者の女性たちにオリジナルのヘアアクセサリーを飾るデモンストレーションを披露。その見事な仕上がりに、場内から拍手と歓声が。東京の美しい夜景を背に、パーティは大いに盛り上がった。



レセプションパーティで、ヴィアネ・ビヴェ日本ロレアル副社長(右)と談笑するジョン・ノレ。

10月22日 セミナー開催



2日目のセミナーではヴィトンのトランクについて、中味や各道具の使い方を詳細に解説。



セミナーに出席した7名のお客様は皆、国内各地でヘアサロンを経営するヘアのプロ。

朝9時30分より、同ホテルのボードルームで開催されたジョン・ノレによる特別セミナーには、今回のヘア ルーム サービスに参加した、国内屈指のヘアサロンオーナー7組が出席。冒頭に、ジョン・ノレが自ら制作したオリジナルフィルム「プロセス」を上映。「ヘアとコンテンポラリーアートとの融合」をテーマに、映画業界でキャリアを積んだ彼独自の世界観が、クリエイティブな映像を通して伝えられた。上映後、ヘアアーティストとしてのこれまでの経緯や、ヘアに対する"哲学"について自らレクチャー。続く質疑応答の場面では、彼と同業者である出席者たちから積極的な質問が浴びせられ、活発な意見交換が行われた。1時間半にわたるセミナーの後、「ヘア ルーム サービス」のコンセプトを具体的に紹介するため、出席者たちを前晩のパーティ会場と同じスイートルームへと再び案内。話題の中心となったのは、ルイ・ヴィトンによる特製トランクだ。開くと瞬時にセット面へと早替わりするこのトランクは、「世界中どこにいても極上のヘアサービスが提供できるように」との思いから、寸法、細部にジョン・ノレのこだわりを詰めた特注品。鏡や椅子をはじめ、無数に取り付けられた引き出しにはシャンプー、ブラシ、はさみ、タオル、ドライヤーなどの道具が一式、収納されている。プロフェッショナルとしての真摯な姿勢と情熱に、出席者たちは感銘を受けた様子だった。

10月23日 ヘア ルーム サービス

いよいよ[illegible]への「ヘア ルーム サービス」が開始。それぞれに割り当てられ[illegible]、2時間[illegible]したお客様に[illegible]でヘアサロンを10店舗[illegible]子さん[illegible]ジョン・ノレが[illegible]のなりたいイメージ[illegible]、通訳を通じて丁寧にヒアリング。その後、シャンプーとヘッドスパへ。リラックスしたところで、再び鏡を前に、自身で最も重要視し[illegible]カット、そして仕上げのセット[illegible]ーかつデリケートなハサミさばきでカットに取り組むジョン・ノレ。その真剣なまなざしには、1ミリの誤差も許さないといった厳しさがうかがえる。施術を終えた和田さんは、「始めは緊張しましたが、終始タッチがソフトなので心身ともにリラックスでき、大満足です。私も経験からわかりますが、"心地よいカット"というのは、とても難しいものです。ジョン・ノレさんの、髪をやさしくいたわる気持ちが、お客様に受け入れられるための秘訣だと思いました。こんなに綺麗に仕上げてくださり、本当に夢見心地のひとときでした。ノレさんは、繊細な感性と緻密な計算の両面を備えた、素晴らしいヘアアーティストです」と感想を述べられた。



巧みなハサミさばきによるヘアカット。



満足な仕上がりに笑顔を浮かべる和田幸子さん。



ヘア ルーム サービスの模様。はじめに丁寧なカウンセリングを行なう。



John Nollet ジョン・ノレ

1970年フランス北部の生まれ。15歳から美容師見習いとしてキャリアをスタートし、ペルピニャンのサロンからモンペリエのオペラハウスを経て、22歳でパリに移住。ジャン=ピエール・ジュネとマルク・キャロの2人の監督に才能を見いだされ、1990年代フランス映画界でめきめきと頭角をあらわし、ヘアアーティスト界のトップに。以後、ヴァネッサ・パラディ&ジョニー・デップ夫妻やモニカ・ベルッチ&ヴァンサン・カッセル夫妻、オドレイ・トトゥ、エマニュエル・ベアール、カトリーヌ・ドヌーヴといったフランスを代表する映画スター達のヘアを公私にわたり担当。これまで手掛けた主な映画は「アメリ」「8人の女たち」「ダンサー・イン・ザ・ダーク」「パイレーツ・オブ・カリビアン」など。セレブとの繋がりから、シャネル、ディオール、ジバンシィなどラグジュアリーブランドの広告ヘアも手掛けるようになり、2002年にはパリに自身初のサロンをオープン。2006年にはホテル・コスト(パリ)とシュヴァル・ブラン・ホテル(クーシュベル)というセレブ御用達ホテルにもサロンを開く。今年から、これまでセレブの為のものだった「ヘア ルーム サービス」を更に広めるべく、世界11都市を巡るワールドツアーを実施。

協力：日本ロレアル(ロレアル プロフェッショナル、ケラスターゼ)　PH：村上健



HAIRDRESSERS AGAINST AIDS

HIV／エイズ　予防教育活動

UNESCO
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

L'ORÉAL
FONDATION
D'ENTREPRISE

ロレアルでは、11月1日～30日　全国115店のヘアサロンで

HAIRDRESSERS AGAINST AIDS【キャンペーン　参加ヘアサロンリスト】

都道府県	ヘアサロン名		住所	TEL
北海道	ELLE friend's　新札幌店	004-0052	札幌市厚別区厚別中央2条5-2-30 新さっぽろジェムシティ	011-801-5060
	ELLE friend's　星置店	006-0851	札幌市手稲区星置1条3-2-2　コープさっぽろ星置店 2F	011-683-4787
	GRAND ELLE friend's	060-0062	札幌市中央区南二条西3丁目　フェス札幌 2F	011-281-2377
	ELLE friend's　パセオ店	060-0806	札幌市北区北6条西2-1-1	011-213-5773
東京都	FÉERIE The Tokyo Towers Relaxation Room	104-0051	中央区勝どき6-31　THE TOKYO TOWERS SEA TOWER 4F	03-5144-8211
	FÉERIE est	104-0051	中央区佃 3-2-10　オーケンビル 2F	03-5547-1777
	FÉERIE Tsukuda	104-0051	中央区佃 2-18-4	03-5560-8860
	FÉERIE lamer	104-0054	中央区勝どき 2-10-14　ロードスビル 2F	03-3533-8435
	FÉERIE GINZA	104-0061	中央区銀座 1-5-11　クリスタルタワー 3F.4F	03-3538-7555
	GRAND TAYA	104-0061	中央区銀座 3-3-1　ZOE 銀座 3F	03-5524-2033
	FRANCK PROVOST GINZA	104-0061	中央区銀座 5-10-9　銀座 YK ビル 2F	03-5568-1855
	FRANCK PROVOST PRIMA 新宿店	151-0053	渋谷区代々木 3-22-7　タイントビル 2F	03-5333-8772
	ヘアルエステ　ヒロイン　西麻布店	106-0031	港区西麻布 4-6-4	03-3407-8028
	uka 東京ミッドタウン店	107-0052	港区赤坂 9-7-4　Tokyo Midtown Galleria D-0204	03-5413-7236
	uka 青山店	107-0062	港区南青山 3-2-2	03-5771-7791
	グレイス　駒込店	113-0021	文京区本駒込 6-24-2	03-5976-5313
	グレイス　[illegible]	114-0003	北区豊島 5-1-1-113	03-3914-1276
	Kind	150-0001	渋谷区神宮前 [illegible]-5-1　神宮前 351 ビル B1F	03-3470-4359
	JEAN CLAUDE BIGUINE 表参道店	150-0001	渋谷区神宮前 5-1-7	03-5467-3488
	[illegible] 青山	150-0001	渋谷区神宮前 [illegible]-21-80	03-5772-8082
	[illegible]	107-0062	港区南青山 5-7-21	03-5464-1780
	Aqua（IGREK PARIS）	150-0021	渋谷区恵比寿西 2-2-8　寿豊ビル 2F	03-3780-6969
	amuse	151-0053	渋谷区代々木 1-32-2	03-5333-8771
	IGREK PARIS 赤羽	114-0045	北区赤羽 1-1-1　アルカード1	03-3901-4321
	IGREK PARIS 渋谷	150-0031	渋谷区桜丘町 15-3　㈱ビル	03-5489-0639
	IGREK PARIS 上野毛	[illegible]	世田谷区上野毛 [illegible]	03-3702-0161
	IGREK PARIS 千歳船橋	[illegible]	世田谷区経堂 [illegible] 小田急マルシェ千歳船橋 [illegible]	03-6715-8099
	IGREK PARIS 神楽坂	[illegible]	[illegible]区神楽坂 [illegible]　イグレックビル	03-5206-7188
	IGREK PARIS 大山	[illegible]	板橋区大山 [illegible] ビル	03-3959-0099

都道府県	ヘアサロン名		住所	TEL
東京都	IGREK PARIS 練馬	176-7055	練馬区練馬 1-6-1　ライオンズステーションプラザ	03
	IGREK PARIS 目白	112-0015	文京区目白台 2-9-15	03
	IGREK PARIS 仙川	182-0002	調布市仙川町 1-18-14-202	03
	ラッシェル　ファミーユ	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町 2-16-17　ウェストサードアレイ　1F	04
	ラッシェル　プレジール	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町 2-13-8　I ビル 2F	04
	ラッシェル　アンジュ	184-0004	小金井市本町 1-8-11	04
神奈川県	Fare 武蔵小杉店	211-0004	川崎市中原区新丸子東3丁目 1100-14　foodium 2F	04
	ヘアーアンド リラクゼーション ファーレ LAZONA 川崎店	212-8576	川崎市幸区堀川町 72-1 LAZONA 川崎 2F	04
	IGREK PARIS 橋本	222-1103	相模原市橋本 2-3-2　京王クラウン街	04
	IGREK PARIS 相模原	229-0031	相模原市相模原 1-4-13　La brume	04
	IGREK PARIS 新百合ヶ丘	215-0021	川崎市麻生区上麻生 1-10-5　渡辺ビル	04
	IGREK PARIS 若葉台	215-0035	川崎市麻生区黒川 562-9　京王リトナード若葉台	04
	M.SLASH DAYSPA 本牧店	231-0821	横浜市中区本牧原 9-1	04
	美容の館　グレース　本店	220-0011	横浜市西区高島 2-16-B 1-234	04
	グレース美容室	233-0002	横浜市港南区上大岡 1-18-3	04
	サロン・ド・ドゥ・グレース	234-0054	横浜市港南区港南台 3-1-3	04
	サングレース	240-0006	横浜市保土ヶ谷区星川 2-4-1	04
	ビューティサロン　グレース	241-0821	横浜市旭区二俣川 2-50-1	04
	カーム・オブ・グレース	241-0835	横浜市旭区万騎が原柏町 127	04
	美容の館　グレース　緑園都市店	245-0002	横浜市泉区緑園 4-1-6	04
	プラザ　グレース	245-0008	横浜市泉区弥生台 16-2	04
	ジョイ・オブ・グレース	220-0005	横浜市西区南幸 1-5-1　相鉄ジョイナス 314	04
	美容室　プシケ	246-0022	横浜市瀬谷区三ツ境 2-19	04
	ぷらうん	251-0024	藤沢市鵠沼橘 1-17-2	04
	KENJE!	251-0055	藤沢市南藤沢 3-4　南藤沢ビル 2F	04
千葉県	head quarters	273-0005	船橋市本町 6-4-23 ケイウッドビル 1F	04
栃木県	アトリエ　髪心	320-0033	宇都宮市本町 18-12	02
	マニアティスパリ　Deco	320-0058	宇都宮市上戸祭 246-1	02
	マニアティスパリ　宇都宮	321-0101	宇都宮市江曽島本町 12-6	02

現在日本では 1 日に 4 人以上が HIV に感染し、新規感染者の 6 割以上は 20 代、30 代が占めています。
また世界には 3,300 万人の HIV 感染者・エイズ患者がいます。



ロレアルは美容師とともに世界で HIV/ エイズの正しい知識の普及を目指しています

ズの正しい知識を伝えよう！キャンペーン」を行っています。

アサロン名	住所	TEL
ーベック	320-0065 宇都宮市駒生町 3364-10	028-650-7220
ーベックビス	321-0933 宇都宮市簗瀬町 2501-1 チェリーベージェント	028-632-0858
ーベック BLISS	321-0967 宇都宮市錦 2-3-1	028-616-1866
・マリモ	321-0101 宇都宮市江曽島本町 22-4	028-645-0101
ier CoCo anne	321-0114 宇都宮市中島町 890 カトレアガーデン内	028-656-7810
ier CoCo	320-0851 宇都宮市鶴田町 931-1 クレインズ 21 1F	028-649-0505
トリエ ジョジョ	321-0904 宇都宮市陽東 5-8-18	028-660-8448
トリエ Fuh	321-0945 宇都宮市宿郷 2-10-21	028-633-8657
トリエ カロン	321-0967 宇都宮市錦 2-3-1	028-616-1877
na 東口店	323-0022 小山市駅東通り 1-6-11	028-525-4585
na 西口店	323-0023 小山市駅中央町 2-9-13	028-522-5741
ンフィーニ	323-0807 小山市城東 5-12-25	028-543-6570
de deux	330-00[illegible] さいたま市見沼区東大宮 4-14-3[illegible]F	0120-39-2817
トレ	333-[illegible] 川口市戸塚東 1-7-30 東川口ガーデンプラザ[illegible] 1F	048-298-5208
MFORT・JUDY	362-[illegible] 上尾市川 170-8	048-781-4751
BELLIR	362-0046 上尾市川 289-6 サニーハイツ 1F	048-783-1532
Y Field 静岡駅前店	420-0858 静岡市葵区伝馬町 3-1 深尾ビル 2F	054-255-6830
Y Field 浜松駅前店	430-0944 浜松市中区田町 330-21 平和ビル 1F	053-457-3900
Y Field 有玉店	431-3122 浜松市東区有玉南町 544-1	053-432-6700
Y Field 志都呂店	432-80[illegible] 浜松市西区入野町 [illegible]145-1	053-415-0066
PENSEE JAUNE	[illegible] 名古屋市中区栄 3-1[illegible]-7 PROJECT4 3F	052-602-8651
PENSEE VERT	460-0008 名古屋市中区栄 3-23-20	052-521-1508
ldy Hair Luxe	460-0008 名古屋市中区栄 3-13-28	052-263-7726
wo 名古屋	460-0008 名古屋市中区栄 3-27-1-5F	052-269-9699
ZO aria	460-0003 名古屋市中区錦 3-5-13 尾国ビル 2F	052-955-2727
R DESIGN KENZO	460-0008 名古屋市中区栄 3-31-25 サンテアビタシオン 1F	052-261-3688
ZO FLAIR	460-0008 名古屋市中区栄 3-6-20 昌見ビル 2F	052-259-2555
Y Field 岡崎店	444-0855 岡崎市真宮町 2-7	0564-57-6553
Y Field 金山店	456-0002 名古屋市熱田区金山町 1-2-26 ヤガミ金山ビル 2F	052-678-5855

都道府県	ヘアサロン名	住所	TEL
愛知県	RAY Field イオンナゴヤドーム店	461-0048 名古屋市東区矢田南 4-102-3 ショッピングセンター 1F	052-725-2775
	RAY Field 星が丘店	464-0026 名古屋市千種区井上町 117 井上協栄ビル 1F	052-788-2877
	RAY Field 今池店	464-0075 名古屋市千種区内山 3-10-17 今池セントラルビル 1F	052-678-3889
	RAY Field 新瑞橋店	467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 8-21	052-859-3770
	RAY Field 大府店	474-0056 大府市明成町 3-71-2 アピタ大府店北	0562-45-6446
	RAY Field 扶桑店	480-0102 丹羽郡扶桑町大字高雄字伊勢帰 201-2	0587-91-3003
	RAY Field 勝川店	486-0945 春日井市勝川町 2-15-1	0568-35-5344
	RAY Field 一宮店	491-0024 一宮市富士 3-2-28	0586-28-4556
岐阜県	RAY Field 北方店	501-0455 本巣郡北方町高屋伊勢田 2-54	058-320-3370
	RAY Field 岐阜店	502-0914 岐阜市菅生 7-1-17	058-210-2626
	RAY Field 各務原店	504-0832 各務原市蘇原花園町 1-19-1	0583-80-7377
	RAY Field 可児店	509-0241 可児市坂戸字八幡前 784	0574-60-2033
大阪府	K-two 梅田	530-0013 大阪市北区茶屋町 1-52-B1F	06-6374-4565
	K-two 心斎橋店	542-0086 大阪市中央区西心斎橋 2-4-2-2F	06-6214-2129
	corso	530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19	06-6374-2253
	add	542-0086 大阪市中央区西心斎橋 1-13-5	06-6245-5290
	MODE K's 石橋店	563-0032 池田市石橋 1-12-6	0727-60-0031
	Hair&Make NYNY 寝屋川	572-0042 寝屋川市東大利町 14-2-2F	072-801-8181
	Hair&Make NYNY 香里園	572-0084 寝屋川市香里南之町 35-1-2F	072-837-2010
	FLAP COMPANY	580-0016 松原市上田 6-1-8	0120-31-6195
	FLAP COMPANY QOO 店	583-0882 藤井寺市藤井寺 1-8-30	0120-00-9516
	アトリエ・カナ	547-0021 大阪市喜連東 5-15-12	06-6707-5580
兵庫県	CHEST 三宮	650-0012 神戸市中央区北長狭通 1-20-13-3F	078-331-3312
	MARIEN BETH 居留地	650-0037 神戸市中央区明石町 31-1-3F	078-321-6060
	MARIEN BETH クラシックドア	650-0037 神戸市中央区明石町 18-1-2F	078-334-6401
	K-two 岡本	658-0072 神戸市東灘区岡本 1-13-7-4F	078-441-9770
	corso by K-two	663-8204 西宮市高松町 14-2 西宮ガーデンズ 3F	0798-68-6648
福岡県	ルール 小倉店	802-0006 北九州市小倉北魚町 1-6-14	093-521-7974
長崎県	FRACTAL DESIGN NAGASAKI	850-0852 長崎市万屋町 2-20	095-818-3603

お問い合わせ 日本ロレアル株式会社 プロフェッショナル プロダクツ事業本部 03-6911-8373 www.hairdressers-against-aids.jp



MILANO

COLLEZIONI DONNA PRIMAVERA-ESTATE 2010

ロマンティック
テルカラーを、
チャーであるバロ
ボディコンシャ
チーフにのせ好評
た、ドナテッラ・ヴ
サーチ(右端)によ
ルサーチのコレク
フィナーレより。
ズンから姉妹ブ
ヴェルサスも久々
し、今後の活躍に
かかる。

2010春夏ミラノ・コレクショ

取材／伊藤英良(Hideyoshi Ito)、山口八千代(Yachiyo Yamaguchi) 撮影／井上美香(Mika Inoue)、大原広和(Hirokazu Ohara)



失われつつある自然と、人工的につくられた自然。人々の手による自然の破壊と創造をテーマにしたラフ・シモンズによるジル・サンダーは"砂"の表面感を素材で表現。クリーンなテーラリングアイテムを個性豊かに見せた。





コンピュータグラフィックでヴァーチャルなビーチリゾートを再現したミウッチャ・プラダによるプラダ。オートクチュールに集約されるクラシックなエレガンスを、デザインと素材への斬新なアプローチで独自に表現。



マルニのコンスエロ・カスティリオーニは、自然からとったモチーフを部屋着感覚のリラックスアイテムに展開。巧みなレイヤードで魅せた。柄はプリント以外にもデヴォレやカットワークレザーなど様々な技術で表現された。





フィレンツェ郊外にある貴族の館を夏風景で再現し、カントリーシックなコレクションで新境地を開いたロベルト・カヴァリは今年67歳。ともにクリエーションにたずさわる愛妻エヴァは元ミスユニバース・オーストリア代表の美女。





フリーダ・ジャンニーニによるグッチは"スポーツ"に着想を得た、凝ったディテールで、トム・フォード時代を彷彿とさせるシャープなスタイルを展開。これまでのフリーダ流キュートなグッチガールが今シーズンはぐっと大人っぽく。



カール・ラガーフェルドとシルヴィア・フェンディによるフェンディは、ペールカラーに切り放しのガーゼやリネン、羽根のように軽くソフトに仕上げたレザーを組み合わせてナチュラルテイストを強調。手刺繍やお花のアップリケも可憐に。



カナダのロッキー山脈で若い男女が集うサマーキャンプの模様を舞台上で再現したディースクエアードの双子の兄弟、ディーン&ダン。満天の星のもと繰り広げられたキャンプファイヤーの翌朝、小鳥のさえずりと共にショーがスタート。





ナチュラルな素材使いと着る人にやさしいシルエットで現代のエレガンスを極めるトーマス・マイヤーによるボッテガ・ヴェネタ。今回のコレクションでは、彼をして「世界一」とのお墨付きを得た日本の素材メーカーによる超軽量ファブリックが数多く用いられた。





[illegible]人魚のうろこをイメージした[illegible]ツ類が秀逸。深海に棲む美しい魚たちからとった色使いに妖しい光沢を添えて。

PRADA プラダ 【Miuccia Prada／ミウッチャ・プラダ】



エレガンスの記憶をたどる「ノスタルジー」な旅の果てに出会ったヴァーチャル（仮想の）リゾート。それが今シーズンのプラダを物語るキーワードだ。このところミウッチャが傾倒しているオートクチュールの伝統と最新鋭技術との融合は、今シーズンもいたるところに生かされた。メインに用いられた素材はシルク。布端を裁ち切りで仕上げ、サイクリングパンツかマイクロショーツのスポーティなスーツに。白いコットンのシャツ、ドクターズ(↗)





(↘)バッグ、透明フレームのアイウェアを合わせた"セクレタリールック"は、終始モノクロ写真を想わせるグレーグラデーションで綴られ、モデルの真っ赤なリップだけがグラマラスに浮き上がった。会場は、CG映像で再現された豪華なパラッツォ（宮殿）の中。きらめくシャンデリアを、プラスチックとスワロフスキークリスタルで。回廊から臨むビーチの風景は、デジタルフォトプリントで。ヴァーチャルの世界をリアルクローズに投影した、プラダならではのコレクション。







JIL SANDER ジル・サンダー 【Raf Simons／ラフ・シモンズ】

㊒ジルサンダー・ジャパン☎03(5464



人工的に作られた"自然"と、それを"破壊し、再構築"するプロセスをテーマにした今回。イメージとして、工事現場をおさめたいくつかのドキュメンタリー映画やミケランジェロ・アントニオーニ監督の「砂丘」などを会場に流し、土やコンクリートを連想させる色使い、砂や麻袋のようなテクスチャーに仕上げた素材で「今の自然にフィットする服」を表現した。幾層もガーゼを重ねた上にシザーカットを入れ、穴開きや切り放しを激しく。はがれた壁のように布の破片が縫い付けられたドレス。キャンバスなどの硬く分厚いものと、オーガンジーやウールモヘアの薄く透ける素材の組み合わせ。木やアイアンをヒールに使った靴も今回のテーマを象徴している。













BOTTEGA VENETA **ボッテガ・ヴェネタ** 【Tomas Maier／トーマス・マイヤー】

問ボッテガ・ヴェネタジャパン ☎0570 00







自然の色使いと最上質の天然素材にこだわり、キャンバス地のホワイトテープをあしらったコットンのエプロン風ドレス、わざとシワ加工して着心地の良さにこだわったコットンポプリンのシャツなど、今シーズンのトレンドとして浮上したノスタルジックな女性像にいち早く注目していたメゾンがボッテガだ。柔道着から着想を得たという布ベルトにはハンドステッチが施され、薄くなめしたレザーの内側にはボンディングでコットンを貼り、スカートは麻のライニングで膨らませるなど、見えない所にまで着る人のことを考えた、作り手のやさしさがこもる作品に誰もが感動を覚えた。6枚のシルクガーゼを重ねたミルフィーユドレス、オーガンジーが靄（もや）のようにたなびくイヴニング。日本製の優れた最新素材も多数使われた。



MARNI マルニ【Consuelo Castiglioni／コンスエロ・カスティリオーニ】

問マルニジャパン☎03(6416)1



多様な色と柄を絶妙に組み合わせる緊張感と、シャツのように薄いジャケットやガウンのようなコートなど、部屋着感覚の軽さとの間で見事なバランス感覚を発揮したマルニ。異なる素材に同じ柄をデヴォレで描き、そのニュアンスの違いを重ね着で楽しんだスーツ(左)。オーガニックプリントのゆったりしたトップスに、幾何学ストライプの厚手レギンス。ポリエステルの花をプレスしたオーガンジーチュニックには、サイクリングパンツを。スエードに施されたレースのように細かなカットアウト、白いコットンオーガンジーのTシャツに、同じく白のチュールオーガンジーでくるんだストーンを刺繍のようにあしらって。頭にプリントスカーフを巻き、ウッドやホーンの天然素材に彩色したカラフルなイヤリングを。











VERSACE ヴェルサーチ 【Donatella Versace／ドナテッラ・ヴェルサーチ】

ヴェルサーチのアイコニックな色と柄をフォーカスした今シーズンのテーマは「不思議の国のアリスがバロックに出会ったら」。ソフトでやさしいパステルカラーに、ブライトイエローやハードなメタル装飾がフラッシュのように交差する。アレンジを加えて蘇らせたアーカイヴプリントをはじめ、CGで描かれたブラックのアウトラインがボディコンシャスなシルエットをよりシャープに強調した。ドレープをきかせたジャージーにシルバー[illegible]マイク[illegible]チェーンをあしらったドレ[illegible]ボディスーツに重ねたスケルトンのミニスカートには[illegible]のプリントが施され、薄くなめしたレザーにはパンチングやハンド刺繍など、凝ったディテールを加えてオートクチュールメゾンの本領を発揮した。尚、日本での展開は10月末で一時休止と発表されたが、実際には来年に向け再スタートの準備を進行中とのこと。新たなヴェルサーチに期待が高まる。











GUCCI グッチ 【Frida Giannini／フリーダ・ジャンニーニ】

(問)グッチ ジャパン カスタマーサービス☎03(5469



白いバンテージドレスでクリーンに幕開けした今シーズンのグッチ。乗馬やダイビングなどスポーツユニフォームに着想を得て、テクノ素材のメッシュブルゾンや身体にぴったり吸いつくスリムパンツで、ボディコンシャスを軽やかに。装飾として、ヨットやパラシュートに用いられる"ハーネス"をびっしりと配し、メゾンの高度なクラフツマンシップを改めて証明した。カラフルなプリントのモチーフは、グラフィカルにアレンジされたイカット柄。大胆に背中を見せたスタイルも健康的な美しさ。大型のホースビットベルト、スパイラル状に巻きつくブーツなど小物にも注目。











FENDI フェンディ【Karl Lagerfeld／カール・ラガーフェルド】

メゾンが誇る最先端の技術を駆使して、どこまでも軽さを追求した結果、ほとんどのアイテムがローエッジ（布端を切り放す仕上げ）に行き着いたというフェンディ。コットンガーゼに麻糸の刺繍、リキッドシルクジャージーと名付けたテクノ素材はなめらかで、スエードやクロコの革は究極のやわらかさが自慢。シースルーに透けるブラやボクサーパンツのランジェリー。タトゥにインスピレーションを得たというお花のアップリケもどこかグランジなムード。ラストルックは、チュールのガウンにミンク、モンゴリアンラムをフェザーと共にあしらったサマーファー。















DOLCE & GABBANA ドルチェ & ガッバーナ

【Domenico Dolce & Stefano Gabbana
／ドメニコ・ドルチェ&ステファノ・ガッバーナ】

㈲ドルチェ&ガッバーナ ジ
☎03(6419







フォトスタジオを模したステージで、これまで幾度となくテーマに取りあげてきた、ドメニコの故郷シチリアの伝統美に再びスポットを当てた今回。黒のマタドール風タキシードスーツをオープニングに、前半はモノトーンで統一され、黒白レースのドレスやコルセットドレスへと続く。ドレスやスカート、スーツ、部分使いの装飾などに数多く用いられたレースは、イタリア南部のプーリア地方に伝わる手工芸に着想を得たもの。後半は、シシリー島に咲く鮮やかな花をイメージしたプリントやジャカード、それらにレオパード柄を加えて色彩のコントラストを見せる。フィナーレには、ドレスの中に着けていたボディスーツのパレードで幕を閉じた。

















ROBERTO CAVALLI ロベルト カヴァリ

㈱ロベルト カヴァリ ジャパン 0120(47

[illegible]し[illegible]的[illegible]まで[illegible]レンツェ[illegible]外の夏の[illegible]別[illegible]を想定したもの。1950-60年代のカントリー[illegible]イメージで、いつもよりソフトでロマンティックなコレクションが新鮮。さまざまな種類の花や植物、果実をモチーフにしたノスタルジックなプリントを、風になびくシフォンのスリップドレスやワイドパンツに展開。それらをマニッシュなピンストライプパンツやオーバーサイズのスエードトレンチなどと組み合わせる。デニムやシルクサテンは洗いをかけることでラスティックな風合いを持たせた。首にスカーフを巻き、パンツの下にはいたプリントのショーツをベルトのようにのぞかせるなど、着こなしにもカヴァリらしい自由さが感じられる。













GIORGIO ARMANI ジョルジオ アルマーニ

㊐ジョルジオ アルマーニ ジャパン ☎03(6274

バウハウスの思想に触発され、コンテンポラリーなフォルムの追求に挑んだというアルマーニ。デイウェア、カクテルだけでなく、イヴニングまでもが膝上のミニ丈で統一され、フラットシューズとの軽快なプロポーションでコレクションが進行する。ドレスはいったん解体され、無駄な装飾を省いて、身体の立体的フォルムを際立たせるよう再構築。ウエストでぴたりとフィットするコンパクトジャケットは、袖を斜めのアングルでカットし肩のラインを張り出させた。シフォンで包んだ補強材入りのシルクなど、素材のテクスチャーにも強いこだわりを見せた。

















ALBERTA FERRETTI アルベルタ・フェレッティ

問アエッフェ ジャパン☎03(5413

オペラのアリアをBGMに、ノスタルジィ漂うエレガンスで真骨頂を極めた今シーズンのフェレッティ。夏の田園で花摘みをする少女の頃に戻って、オーガンジーのシャツドレスに透かし編みのエプロンドレス、シフォンとオーガンジーなど透け感の異なる薄手素材がデリケートに重ねられたドレスを身にまとう。スカート裾はふわりと軽やかに風にのり、平面と立体の刺繍バリエーションで繊細に描き上げたたわわなブーケが、かぐわしい香りを運んでくれそう。スキンカラーやパステルの消え入りそうに淡い色彩で、やさしい夏の詩を綴った。













洗いをかけクラッシュ加工したブルージーンズ、むら染めに彫り物やパンチングを施したブラウンレザー、フリンジブーツと首に巻いたバンダナなど、今回のメインモチーフは「カウガール」。自由な感性でミスマッチを楽しむ英国女性のストリートスタイルに着想を得て、白いコットンレースのブラウス、オーバーサイズのメンズジャケット、ビスチェトップやフープスカート、トロンプルイユニットやミッキーマウスとミニーのプリントTシャツ…と、様々な組み合わせでワイルド&キュートなイメージに。フィナーレは、タンガリーシャツにスエードのサッシュ、様々な丈のティアードスカートとのバリエーションで。































ドナテッラがクリエイティヴディレクターを務め、その下でロンドンの若手トップ、クリストファー・ケーンがデザインを手掛けて生まれ変わったヴェルサス。先シーズンは小物だけの発表にとどまったが、今季はプレゼンテーション形式で小さなカプセルコレクションを披露、ブランドとしては2005年以来の公式発表となった。ケーンが得意とするコンパクトなドレスを、シンプルに黒、赤、ベージュの3色に絞って見せた。ジャージーを基本に、繊細なレースやプリーツと、チェーンメイル（鎖かたびら）やメデューサの刻印入り安全ピンのハードなアクセントとのコントラストで遊ぶ。ボディスは身体に沿ってスリムに、スカートはフレアで女らしいシルエットに。来年にはランウェイを復活させ、eコマースも開始予定。今後が楽しみだ。









DSQUARED2 ディースクエアード 【Dean Caten & Dan Caten／ディーン・ケイティン&ダン・ケイティン】

問ここのえ☎03(5794)9931

ーの故郷カナダの大
わせる舞台で、小島
りをバックにキャン
女が楽しいコレク
披露。寝起きのよう
ヘアにだてメガネ
ビニールテント風
や寝袋を仕立て直
はドレス、魚釣り用
と長靴、ナップサッ
イエローの救命用べ
ぶさったジーンズな
ってモデルが登場。
ングシューズ風サン
虫モチーフの刺繍、
クセサリーのように
ンソウコウも愉快。



EMPORIO ARMANI

エンポリオ アルマーニ 【Giorgio Armani／ジョルジオ・アルマーニ】

㈱ジョルジオ アルマーニ ジ
エンポリオ アルマーニ☎03(6274



メトロポリタン（都会人）の自由な感覚から生まれる「L'Allegria del Vestire d'Estate（夏にドレスアップする喜び）」を表現した今回。平らなカラーディスクの幾何学刺繍、黒と白でクロコダイルの革表面を模したパテントレザーブルゾン、クリスタルをちりばめたフィッシュネットトップス。南イタリアの海岸沿いを散歩中に見かけた庭がインスピレーション源という、ブルーにレッド×フーシャ×コーラル×オレンジのフラワープリントがメインモチーフとなり、ランウェイで陽気に咲き乱れた。



















GIANFRANCO FERRÉ ジャンフランコ フェレ [Tommaso Aquilano & Roberto Rimondi／トマソ・アキラーノ& ロベルト・リモンディ]



様々へと「トランスフォ
ン（劇的な変身）」する
で今回の作品づくりをし
アキラーノ&リモンディ。
アイコンであったオーガ
白いブラウスを、今シー
パクトにダウンサイズ
を透かして今年らしく(✓)

した。ウルトラライト（超
ファイバーで織られたシル
ールのデリケートな素材
り使い、ミルフィーユの
かく重ねて、軽く空気を
フォルムに。アースカラ
ませたゴールドは、さな
皮し羽を広げる蝶のよう。
のジュエラー、ダミアー
ラボアクセもデビュー。











BLUMARINE ブルマリン【Anna Molinari ／アンナ・モリナーリ】



自然からインスピレーションを得て、熱帯雨林を想わせるボタニカル（植物の）グリーンなど陽気なブラジリアンカラーがはじけた今回のテーマは「FREEDOM（自由）」。タイダイ（むら染め）はアンナ・モリナーリらしい配色で洗練され、ストレッチコットンのボディコンドレスやタビー織シルクのカフタンドレス、おへそが見えるタイニーなベアミドリフトップに。ラミネートレザーやワックス加工したコットンなどテクニカルファブリックを駆使して軽やかに。ジュエルバックルのベルトでウエストマーク。



















EMILIO PUCCI エミリオ・プッチ [Peter Dundas／ピーター・デュンダス]

㈱エミリオ・プッチ カンパニー ☎03(5410)8992



ピーター・デュンダスによる"イタリアニズム(イタリア主義)"あふれる2シーズン目のプッチは、きらびやかなボディコンシャス・ドレスを中心に、ますますグラマラスな女性像へとイメージチェンジ。海の世界にインスピレーションを探り、アクアやオーシャンブルーのプッチプリント、ヒトデのモチーフや水面のようにきらめくスパンコール刺繍、ダイビングスーツに着想を得たネオプレンのブルゾン。スイムスーツにもセクシーなカットが施された。パイソンのレザージャケットやオーストリッチのフェザー刺繍、マイクロプリーツ・シフォンのドレスなど、ダンダスお得意のクチュール技がゴージャスに際立った。

AQUILANO RIMONDI アキラーノ・リモンディ [Tommaso Aquilano & Roberto Rimondi／トンマーゾ・アキラーノ／ロベルト・リモンディ]

㈱コロネット ☎03(5216)6517



フェレのデザイナーも兼務する注目のデュオ。今シーズンから日本での正式取扱も決まり、今後の成長に期待がかかる。「モネ、ガウディ、パッチワーク、オリエント(東洋趣味)」の4要素から独自の世界をクリエイト。ラピスラズリブルーやエメラルド、ピーコック(孔雀)グリーンにシルバーホイルで神秘的な輝きを加えた。マヨリカ焼き(ルネサンス時代のイタリアで生まれた陶器)や日本のスイレン、インドのペイズリーをモチーフに、ブロケードをはじめとするイタリア製素材を、現代のサルトリアル(イタリアのテーラード)や3D刺繍などのクチュール技術でエレガントに。丈はミニで統一し、若さを強調した。

MAXMARA マックスマーラ

㈱マックスマーラ ジャパン ☎03(5467



マックスマーラを象徴する、ベージュサテンのダスターコート（夏用コート）とマニッシュなパンツスーツとのアンサンブルで幕を開けた今回。テーラリングの伝統に、ノット（結び目）から生まれるドレープで新しいボリューム感を追求した。ブロンズやコパー、ゴールドの光がニュートラルカラーをリッチに見せ、またライトウエイト（軽量）ウールや重量感あるリネンなどマニッシュな夏素材に、フェミニンなレースやシースルーのランジェリーという対極のものを組み合わせながら、見事な統一感を保っている。胸元深く開いたネックラインに、ゴールドチェーンのアクセサリーが輝いて。







SPORTMAX スポーツマックス

問 マックスマーラ ジャパン ☎03(5467



バラシュートを想わせるビッグパーカやドローストリングボトム、オーバーサイズのトレンチコートにゲートル風ブーツなど、マスキュリンなミリタリーインスピレーションを、軽やかな素材とニュートラルカラーでソフトに仕上げたスポーツマックス。ベルトやコルセットによるウエストマークと、ゆったりしたブラウジングとの相反するシルエットが交互に登場し、X線写真のようなリボン&ドレープのトロンプルイユプリント、デコンストラクト（脱構築）なフォルムが特徴的なシャーベットイエローのドレスなど、エキセントリックなアイテムも。













MAURIZIO PECORARO マウリツィオ ペコラーロ

「SUMMER」と題し、夏のフレンチリヴィエラ海岸と、1950-60年代のシックなムードを、ペコラーロのロマンティックな感性でブレンド。お花のアップリケにシフォンをかぶせたドレス、メッシュを切り替えたフラワープリントのコットンドレスにシルクフリンジの装飾を。メタリックレザーの羽根を刺繍したロングジレと、ピンストライプラメのシフォンブラウス、スイムウェアのようなショーツ。ほのかな印象を与えるダスティカラーは北欧スカンジナビアからのインスピレーション。













RO エトロ【Veronica Etro／ヴェロニカ・エトロ】

問エトロ ジャパン☎03(3406)2655



ールマークで
リープリント
ル調にぼかし
ュアンスを加
ズン。ボタニ
ガニックなど
インスピレー
ーマのひとつ
やコットン、
トシルクのや
使いとナチュ
ーに、3D刺繍
ッチの色彩で
加えた。室
なリラッ
ットのア
今年らし

SSONI ミッソーニ【Angela Missoni／アンジェラ・ミッソーニ】

問オンワード樫山お客様相談室☎03(5476)5811



水、空、木や貝殻など、自然からとった色使いがやさしいハーモニーを奏でるミッソーニ。レースのボディスーツ、ジャージーのチューブドレス、ドレープが特徴的なパレオスカートなど、羽根のように薄く軽いアイテムを幾重にも重ね着し、細長いシルエットで体を包んで「現代のイサドラ・ダンカン(モダンダンスの祖となった20世紀実在の女性)」を創出した。オープンワーク(切り抜き刺繍)や3Dのオリガミ刺繍、ホイッスル(笛)のついたネックレスなどディテールにも注目。

MOSCHINO モスキーノ

㈱モスキーノ・ジャパン☎03(5413



黒い革ジャンにゴールドチェーンやマルチカラースタッズのハードなアクセントをつけ、ミニのタイトスカート、斜めがけしたポシェットなど、80年代調スタイルをモスキーノらしいユーモアで表現。いっぽう、得意のクチュールテクニックでスカートをふんわり仕上げた、チェリーなどフルーツプリントの可憐なミニドレスも魅力的。

MOSCHINO CHEAP AND CHIC モスキーノ チープ アンド シック

㈱モスキーノ・ジャパン☎03(5413



マーガレットの花がサングラスや麦わら帽となってノスタルジックな夏を演出。フリルたっぷりのブラウスやベビードール、ギンガムチェックやアイレットレースのコットンドレスがやさしい印象。カラーテープを巻きつけたバンテージドレスも。

ST CAVALLI ジャスト カヴァリ【Roberto Cavalli／ロベルト・カヴァリ】

㈱アイ・ピー・ジー・アイ☎03(5774)2174

シャスにアレ
ンジェリード
ークン加工し
きらびやかな
てカヴァリら
ジルックが完
サーのレザー
カラーパッチ
ップに。



TONIO MARRAS アントニオ・マラス

き詰めたラ
消え入りそ
な色使いで、
-素材を使っ
リースタイ
ルジックに
リン
ピン、



BLUGIRL ブルーガール【Anna Molinari／アンナ・モリナーリ】

㈱ブルーベル・ジャパン
☎03(5413)1050

「LOVE」をメッセージに、レオパードや海、花など自然からとったモチーフをカラフルにハッピーに表現。ビニールのカラーヘアバンドもキュート。



MILA SCHÖN

ミラ・ショーン【Bianca Gervasio／ビアンカ・ジェルバジオ】

ドレープやピンタックなどクチュールワークを駆使して3Dフォルムを強調した今回のテーマは「カレイドスコープ(万華鏡)」。布を折りたたみ、彫刻のように仕上げた個性的なドレスを中心に、コンケーヴショルダー(弓なりの肩線)のジャケット、ドレープチュニックやルーズパンツ、エッグシェイプスカートなど新しいシルエットに挑んだが、やはりミラ・ショーンのアイコンである、ダブルフェイス・ウールのアイテムが放つシンプルな美しさこそ普遍だ。ヌーディなスキンカラーにジオメトリックフラワーのクリスタル刺繍を輝かせて。















9月10日に開幕した2010年春夏ニューヨークコレクション。景気悪化の影響を反映し、ショーの数はピークを迎えた一昨年の300件から、今シーズンは200件弱にまで減少した。それぞれの規模も縮小傾向にあるものの、参加したデザイナー達は不況ムードにめげることなく、ファッションで気分を高揚させ、社会全体を明るくしていこうと、意欲的だった。売りやすそうな無難な服よりむしろ、デザイナーの個性を強調したコレクションが多くなっているのも、それを物語っていた。一時の勢いは収まったものの、ニューヨークにアメリカンドリームは健在だ、ということだろうか。

注目の若手デザイナー、アレキサンダー・ワンのコレクションは、シーズン毎に倍近く規模を大きくしてきたが、今シーズンは、コレクション会場としてはニューヨーク最大規模をもつピアーで行われた。客席には世界のVIPがズラリと顔を揃え、会場の周りには黒塗りのリムジンが集まり、付近の道路は渋滞する始末。デビュー3年にして、すでにビッグスターに成長したことが証明された。

2時間遅れのショーですっかり有名になったマーク・ジェイコブスは、このところオンタイムの開始にこだわっているようだ。今シーズンも汚名返上か、予定通り20時ぴったりに始めたので、貴重なチケットを手にしていながら間に合わなかった人も(ちなみに前シーズンは、なんと予定開始時刻より3分前に始めてしまった)。コレクションは、80年代前半のヴィヴィアン・ウエストウッドやコム・デ・ギャルソン、ジャンポール・ゴルチエらを彷彿とさせるアヴァンギャルドに、フリルいっぱいのロマンティックをミックスしたもの。誰もが想像していなかった力強い作風で圧倒した。先シーズンのショーで、すでに引退していたメーキャップアーティスト、フランソワ・ナーズを起用し、話題になったが、今シーズンも引き続き強烈なタッグを組んでみせた。マークの大胆な服とフランソワの斬新なメークとの組み合わせは、ますます拍車がかかり、より大胆になった。白塗りにアイラインと眉を強調したメーキャップは、バレリーナのイメージだそうだが、草履のようなサンダルや日本的なテイストのコーディネートからか、地元では"カブキメーク"と呼ばれていた。リアルクローズが重視されがちな厳しい状況下のこの時代に、思い切ったクリエーションで一石を投じたマークの姿勢に、観客は割れんばかりの拍手を贈った。

JASON WU



MARC JACOBS



DONNA KARAN





ジェイソン・ウーのフィナーレより。



アレキサンダー・ワンのフィナーレより。

DIANE VON FURSTENBERG





ALEXANDER WANG

PROENZA SCHOULER



2010 spring & summer
NEW YORK COLLECTION

Photos / Hirokazu Ohara, Texts / Reiko Tokita



3.1 PHILLIP LIM



HERVÉ LÉGER by MAXAZRIA

"アメリカン・レガシー"を代表するラルフ・ローレンは「アメリカの不屈の精神を信じる」という強いメッセージをコレクションに託した。アメリカの伝統的なワーカースタイルや、使いこんだデニムのビンテージ感を生かして、洗練されたスタイルにリメークした。希望を見失いがちな厳しい時代に、その熱い思いが観客に感動を与え、拍手とスタンディングオベーションが止まらなかった。

最後に余談だが、コレクション初日のオープニングイベントとして、ヴォーグアメリカの編集長、アナ・ウィンターが発案した「ファッション・ナイト・アウト(閉店後の夜8時から深夜0時まで店舗営業を続け、関連のパーティやイベントでファッション界を盛り上げようという催し)」が行われた。参加したのは、デパートをはじめ、ブランドブティックやセレクトショップなど約800店。ミッドタウンやミートパッキングエリアには、深夜まで通りを埋め尽くすほど大勢の人が繰り出し、マンハッタンの街は大変盛況となった。この企画はニューヨーク以外にも東京、ミラノ、パリなど13ヶ国で行われた。ドキュメンタリー映画『セプテンバー・イシュー(邦題:ファッションが教えてくれること)』では、その恐るべき女帝ぶりが白日の下にさらされ、話題になったアナ・ウィンターだが、彼女の影響力は世界規模である、ということを改めて示しながら、今シーズンのニューヨークコレクションは9月17日に幕を閉じた。



ANNA SUI



MICHAEL KORS



3.1フィリップ・リムのフィナーレより。



MARC JACOBS

マーク・ジェイコブス

アヴァンギャルドなデザインを競った1980年代前半からのインスピレーションを、マーク風に様々なイメージをミックスしながら見せた。襟、裾、フロントにフリルを重ねたトップスや、ジャケットにペグトップパンツ、ブラジャーを重ねたレイヤード、下着のディテールを付けたパンツなど。当時のジャンポール・ゴルチエ、ヴィヴィアン・ウエストウッド、コム・デ・ギャルソン（川久保玲）、ザンドラ・ローズらへのオマージュが、新しいスタイルに。

㈱マーク ジェイコブス
カスタマーセンター
☎03（4335）1711












ALEXANDER WANG

アレキサンダー・ワン

わずか23歳にして、ニューヨークで一番の注目を集めるデザイナーになった。アメリカン・フットボールやラグビー、野球などのスポーツウェアやミリタリーアイテムを、得意の80sスタイルにミックスさせた。アメリカン・フットボールのユニフォームを思わせる、肩にアクセントをつけたスエットトップやミニワンピース、ビッグなパーカにブラトップ、アシメトリーなレングスのジャケットなど、モードなリアルクローズは好評だった。

問Pred PR
☎03(5428)6484



















RALPH LAUREN COLLECTION

ラルフローレン コレクション

ファーマーズジャケットやサロペット、デニムなどに代表されるアメリカの伝統的なワーカー風スタイルを、ラグジュアリーで洗練された服にリメークした。ワークジャケット、ダンガリーシャツ、ヴィンテージデニムなど、見慣れたアイテムにラメやビーズ、サテンで輝きを加えながら、新しい時代のモードに。プレスリリースに書かれたラルフ・ローレンによる「アメリカの不屈の精神を信じる」という強いメッセージが伝わったコレクション。フィナーレには総立ちになった観客からスタンディングオベーションが鳴りやまなかった。

問ポロ ラルフ ローレン
☎03(5412)8700









OENZA SCHOULER

プロエンツァ・スクーラー





最近しきりに、ミラノやパリのビッグブランドの後継デザイナー候補として噂が流れる若手デザインデュオ、プロエンツァ・スクーラーもニューヨークコレクションの注目株だ。今シーズンは、プリミティブなニュアンスを加えた力強いコレクションを見せた。薄いレザーを布のように扱い、ドレープを寄せたドレスや、アスリート風Tシャツとラインアクセントのパンツ、プリミティブなプリントにシンセティック素材のフリンジなど、新しいチャレンジが。

























DIANE VON FURSTENBERG

ダイアン フォン ファステンバーグ

「オアシス」をテーマに、荒涼とした砂漠の中で美しさを際立たせる"女王"を想像させるコントラストのあるコレクションを見せた。カモフラージュプリントのトップと鮮やかなフラワープリントのティアードスカート、エキゾティックプリントのミニドレス、グラデーションプリントのチュニックとダークカラーのパンツなど、砂漠に咲く花のような鮮やかな印象のコレクション。

問ダイアン フォン ファステンバーグ
☎03(5467)2060











3.1 PHILLIP LIM
3.1 フィリップ・リム

Vネックセーターとシャツのスクールガール風レイヤードや、コンパクトなベージュのステンカラーコート、エポーレット付きのミリタリー風ジャケット、スリムなトレンチコートなど、70年代のプレッピースタイルを思わせる今シーズン。ロールアップしたパンツやショートパンツを取り入れたミックスコーディネート、立体的なアコーディオンプリーツをアシメトリーに配した手の込んだドレスなど、幅の広さを印象付けたコレクションだった。

㊞スリー・ワン フィリップ・リム ジャパン ☎03(5411)2870























MARC by MARC JACOBS
マーク・バイ マーク・ジェイコブス

アヴァンギャルドなクリエーションで魅せたファーストラインとはガラリと変わり、その翌日に発表されたマーク・バイ・マーク・ジェイコブスは、色いっぱい、元気いっぱいの"わかりやすい"コレクションだった。イメージはズバリ「アフリカ」。赤、黄、ピンク、オレンジの原色プリントを使ったブラウスやミニスカート、パンツをプリント・オン・プリントでスタイリング。大きなリボンのカチューシャを合わせ、明るさを強調。

㊞マーク ジェイコブス カスタマーセンター ☎03(4335)1711





by BAND OF OUTSIDERS

ボーイ バイ バンド オブ アウトサイダーズ

いつもシチュエーション設定にこだわるボーイのデザイナー、スコット・スタインベルグ。会場となったソーホーのスタジオに、今回は砂を敷き、その上に流木を無造作に置いて、海水浴客でにぎわうビーチとは違う雰囲気の"砂浜"イメージを掻き立てる。ビッグなパーカにロールアップしたゆるいバミューダ、ずり落ちそうな大きな襟ぐりのニットにショートパンツ、プレッピー風なネービーのシャツドレスなど、彼の手にかかると見慣れたアイテムが、なぜか魅力的に変身する。

問ガスリー☎03 (5778) 3052

















MICHAEL KORS

マイケル・コース

いつものエレガントなスタイルから、ミニマルでモダンな印象に変わったマイケル・コース。構築的でシャープなフォルム、点描画風のプリントを全面に用いたワンピース、袖や肩にスラッシュを入れたニット、アシメトリーにドレープを寄せたドレスやワンショルダーのセクシーなドレスなど、大胆なスタイルが多くなった。それらを、ラベンダーやミントグリーン、シルバーグレーのさわやかなペールトーンで、シックに見せている。





















DONNA KARAN

ダナ・キャラン

柔らかなフォルムを描く、リンクル加工のリネンのジャケットにスリムな長めのスカート、フロントでラップしたシースドレス、裾の広がりが優雅なフィット＆フレアのフェミニンなドレス、タイトなトップスとシースルーパネルを重ねたスカート。英国の帽子デザイナー、スティーブン・ジョーンズのヘッドドレスを合わせ、ライトグレーやスキンベージュのニュートラルカラーが、知的な大人のエレガンスを感じさせた。

㊥ダナ キャラン ジャパン
☎03(5476)5340













ANNA SUI

アナ・スイ

60年代の映画『ドリトル先生の冒険』のキッチュなイメージに影響されたコレクション。ポップ、ヴィクトリアン、プレッピーがミックスされた、明るく楽しいスタイルが登場した。衛兵のようなモール飾りの付いた短いケープにプリントのワンピース、モノトーンチェックのジャケットにミニスカート、ロングベストを重ねたワンピース、フロントにフリルを重ねたブラウスやワンピースなど。ミニの軽快なバランスとカラフルな色使いが、明るく若々しい。

HERVÉ LÉGER BY MAXAZRIA

エルベ レジェ バイ マックス アズリア

シグネチャーのボディコンシャスなバンデージドレスが、ニューヨークのセレブに人気のエルベ・レジェ。ショー会場には、エルベ・レジェのドレスを着こなした美女たちが勢ぞろい。今シーズンは代表的なバンデージドレスに加えて、フィット＆フレアのドレスや、アンティークゴールドのリボン刺繍入りドレスなど、バリエーションが増えた。さらに、デニムのパッチワークやバティックプリントなど、今まではなかった素朴でプリミティブな服も登場した。

㊥ビーシービージー
マックスアズリア ジャパン
☎0120(591)553










THAKOON
タクーン

タクーン・パクニガルによる意欲的なコレクションには、ミニのコンパクトなドレスに様々なアクセントをつけたクリエイティブな作品が登場した。細かいプリーツパネルをあしらったジョーゼットのラップドレス、プリントを重ねた繊細なシースルーブラウス、ダークカラーのボディスに、プリントのアコーディオンプリーツパネルを立体的に飾ったドレスなど。

問ブランドニュース
☎03 (3797) 3673





TORY BURCH
トリー・バーチ

日本では、すでにバッグと靴で人気を博しているトリー・バーチ。朝9時に始まったプレゼンテーションには各国のバイヤーが詰めかけ、世界的人気の高さがうかがえた。ガーデンプリントのミニドレスは、ハイウエストでコンパクトな仕上がり。トリミングがアクセントになっている、ジャカードのノーカラージャケットとミニスカート。タイダイ(むら染め)のレザーワンピースやビッグトップなど、上品なシティウェアを発表した。

問ルック☎03 (3794) 9151







MALANDRINO
マランドリーノ

いつもはキャットウォーク用の会場として使われるアートギャラリーに、いくつかのステージを設置、プレゼンテーション形式でじっくりと新作を披露したマランドリーノ。アフリカ、ポリネシアン・ネイティブ、モロッコ、サハラ・ノマド(遊牧民)、ペルシアン・トライブ(部族)など、暑い南国地域やプリミティブなアートからインスパイアされた力強いモチーフを、彼女らしいゴージャスな装飾でラグジュアリーなウェアに仕上げた。

問ユニット&ゲスト ショールーム
☎03 (3710) 3107






JASON WU
ジェイソン・ウー

今年1月の大統領就任式のパーティで、ミッシェル・オバマ夫人が着用した白いドレスで一躍世界に名を馳せた台湾出身の26歳。チュールでトリミングしたシルクツイードのカーディガンジャケットとシンプルなパンツ、ブルゾンとミニスカートのスーツ、タイトにフィットさせたトップスとバブルスカートのミニドレスなど。装飾を抑えた、フェミニンで洗練されたコレクションは好評だった。

問ブランドニュース
☎03 (3797) 3673








パリ展に先駆けて2010/2011年秋冬の最新コレクションを発表する

「モード・イン・フランス展」展（於:ヒルトン東京14階）の魅力とは?

フランス婦人プレタポルテ連盟が主催する「モード・イン・フランス」展は、来年1月で第28回目を迎えます。1996年に創設され、毎年1
に、本国のプレタポルテ・パリ展に先駆けて、ヒルトン東京にて開催（ご注意!開催場所が第27回展より新宿のヒルトン東京に変わってお
50社あまりにおよぶ出展者の多くは、大手ブランドとは一線を画するストラテジーや、大量生産ものにはない、丁寧で緻密な職人技によ
ンスファッション上級者に支持されています。同展会期中には、ご来場者と出展者とのコミュニケーションをはかるべく、アフタービジネス
は、ボルドーワインを飲みながら、著名なパティシエ,エリック・カイザーによるガレット・デ・ロアを味わう等、賑やかなイベントも企画してお

主催：フランス婦人プレタポルテ連盟
FEDERATION FRANÇAISE DU PRET A PORTER FEMININ

お問合せ先：
フランス見本市協会(PROMOSALONS
東京都港区六本木 5-5-1
TEL : 03-3405-0171 FAX : 03-3405-0418
japan@promosalons.com

Off the Runway report

オフ・ザ・ランウェイ リポート

2010 spring/summer Paris collections

不況ムードも何処へやら、パリコレのオフ・ザ・ランウェイは今シーズンも花盛り。ファッションピープルたちの熱く、華やかな着こなしバトルから生まれる、次なる裏トレンドを早速チェック!






Polka-dot hose

シーズンのバレンシアガのコレクションで登場した黒のドット柄ストッキング。シアーな質感とクラシカルな上品さがードな着こなしに新しいスパイスを与えてくれる。






Fasten Belt

もはや常識、のベルトマーク。ジャスト〜ハイウエストにマークして、シルエットに変化を。今シーズンはマイクロミニのドレスに幅太のサッシュベルト、が新鮮な印象。








High-waist

ドレープたっぷりのズアーブパンツの次に狙いたいボトムは、80sフィーリングにぴったりなハイウエストパンツ。





Skinny pants with Strappy shoes

脚を長くキレイに見せてくれるマルチストラップシューズはファッションピープルの必須アイテム。スキニーパンツやレギンスと合わせて、さらに美脚を演出。






Shocking Color

ショッキングピンクやヴィヴィッドイエローなど黒と相性抜群なカラーは要チェック。

Chemical washed and Pre-cut

ランウェイにも登場したグランジムードの復権に拍車をかけるべく、ケミカルウォッシュやブロークンデニムがちらほら。シャープなテーラードジャケットやレースやスパンコールアイテムと合わせてドレスアップ調に着こなすのが2010年方式。



Beige Pink

1年前からランウェイ上でのベーシックカラーとなっているベージュなどのスキンカラー。ピンクがかった色調で個性の強いアイテムもソフト&フェミニンなムードに。

Lady in Blue

上級おしゃれなエディターやモデル、セレブの間で今シーズンはデイドレスを中心に、濃淡さまざまなトーンのブルーに注目が集まった。





Animal Punk

ブカラーやグラフィックでアジしたアニマル柄をパンク調こなしで。

Colored JK

もはや定番アウターとなったテーラードジャケット。ベーシックな黒や白の次には、ヴィヴィッドカラーに挑戦したい。

The Jackets

紺、グレーやピンストライプなど、ベーシックタイテーラードジャケットは何枚あっても重宝なアイ。それぞれ個性を生かした着こなしを楽しんで。

Leather Bottoms

昨今のライダースブームや80sフィーリングにともない、今シーズンは黒い革のスキニーパンツやタイトミニスカートにもスポットが。

Stripes

ジャケットスタイルに変化が欲しいときにはボーダー柄のTシャツを取り入れて。色・デザインともにバリエーション豊かに。



Cape

アウターの変化球として持っていたいケープ。今シーズンは丈が短めで袖がひらひらしたタイプや、ジャケット型のものに注目。











Bag with Chainstrap

シャネルのクラシックバッグと80s人気があいまって、今シーズンはチェーンバッグが本格カムバック。小さめのポシェットタイプを肩から斜め掛けするのが基本スタイル。

Thigh-high Boots

小物にも80sフィーリングが波及し、ニーハイ（膝上）よりもさらに長いサイハイ（太もも）ブーツを取り入れる人たちが急増。









Satin

ランバンやバレンシアガの影響で、ドレッシー素材の代表格・サテンで仕立てたアイテムが急浮上。気負わず、シンプルに着こなすのがカギ。

White Mini

黒タイツやブーツでまとめたボトムに、今シーズンは白いミニスカートが新鮮。フレアやフリルなど、ふわふわしたタイプを選んで

Head Dress

先シーズンのルイ・ヴィトンのコレクションに登場した、うさぎの耳のようなリボンカチューシャをはじめ、キュートなヘア飾りがますます充実。









Choker

コスチュームジュエリーと呼ばれるヴォリューム感たっぷりのチョーカーで胸元にインパクトを。




Leg Warmer

ハズシをきかせた着こなしを狙うなら、今シーズンはニットのレッグウォーマーに注目。

Celebrities




ジャネット・ジャクソンはランバンの新作ドレスで喪に服す(?)。



衰えぬ美貌とシックな装いはイネス・ドゥ・ラ・フレサンジュ。

(右)ディオールの刺繍入りドレスでジョン・ガリアーノのショーを鑑賞するディータ・ヴォン・ティース。




モデル出身のナタリアは夫(左)、愛娘(上)とともに。




新進女優フリーダ・ピントはルイ・ヴィトンのブルーのドレスで。

…シャネルのショーではサプライズライブを披露し…ロンドンのシンガーソングライター、リリー・アレン。

…ドキュメンタリー映画「The September Issue(邦題…ファッションが教えてくれ…たこと))」がパリでも話題…となったアナ・ウィンター。



60年代よりモデル級のプロポーションをキープし現役で活躍する女優シャーロット・ランプリング。ステラ・マッカートニーのショー会場前で。




…パリコレ常連の…とり、モナコ…室のプリンセ…、シャーロット・…シラギ。



恋人から暴行を受けた傷を乗り越え、久々に公の場に姿を見せたリアーナ。ヘアスタイルも変え、心機一転。



アメリカのミュージシャン、プリンスはシャネル、YSL、ガリアーノなどを鑑賞。クリスタルをちりばめたサングラスとステッキ、胸元の開いた真っ赤なスーツなど50歳を過ぎてもなおスターのオーラを。




ルイ・ヴィトンの会場前で、ファンにサインするカトリーヌ・ドヌーブ。

中国出身の女優コン・リーもルイ・ヴィトンを鑑賞(下)。

ヴァレンティノの常連客で女優のイネス・サストレ。





アメリカのポップシンガー、ケイティ・ペリーは、ルイ・ヴィトン(下)とガリアーノ(ピンク)のショーに。




友人ステラ・マッカートニーのショーにやってきたロンドン在住の女優グウィネス・パルトロウ。

(上)ロンドンきってのセレブデザイナー、ジェイド・ジャガーはランバンへ。



BAG & SHOES

TREND EXPRESS 2010 spring & summer




LANVIN
HERMÈS
RICK OWENS
FENDI
DIOR
JEAN-PAUL GAULTIER
Strap & Lace-up
GIVENCHY
VIKTOR & ROLF
CHANEL
CHANEL
Decoration
ROCHAS
VALENTINO
VIKTOR & ROLF
CHANEL
ALEXNDER WANG
BALENCIAGE
Summer Boots
GIVENCHY
VERSUS
VIVIENNE WESTWOOD GOLD LABEL
LOUIS VUITTON

Clip

読者プレゼントつき





＜シードパールティアラ＞19世紀初期、イギリス、シードパール

＜ヴィクトリア女王のミニアチュールペンダント＞1858年、イギリス、ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、エナメル

以上すべて、穐葉アンティークジュウリー美術館蔵

PRESENT この展覧会チケットを10組20名様に。応募番号❶

華麗なる英国のライフスタイル
愛のヴィクトリアン・ジュエリー展

1837年に16歳で即位してから64年もの間、大英帝国に君臨したヴィクトリア女王（1819-1901）。その産業革命にともなう資本主義の発達と、インドをはじめ世界にまたがる植民地の獲得などを通して国に"ヴィクトリア時代"と呼ばれる繁栄をもたらした。信頼できる伴侶と9人の子供に恵まれ、「平和な家庭」の象徴として、またヨーロッパのファッションリーダーとして、女王の華麗な生活様式はウェディングをはじめ、アフタヌーンティーやクリスマスなど、現代の私たちの生活をより豊かにしている様々な習慣を生み出した。本展では、英国王室にまつわる金の宝飾品をはじめとする著名な宝飾品や、同時代に発展した、技巧を凝らした華やかなアンティークジュエリーの数々を中心に、当時のウェディングドレスやモーニング（喪服）の装い、アフタヌーンティーの豪華な銀器によるテーブルセッティング、繊細な模様や手仕事で仕上げたアンティークレースなど約300点を通して、華麗なる英国伝統文化の粋を紹介。

期間／2010年1月2日（土）～2年21日（日）※会期中無休
時間／10:00～19:00 ※毎週金・土曜は～21:00（1月2日を除く。入館は閉館30分前まで）
会場／Bunkamuraザ・ミュージアム（東京・渋谷）
料金／一般1,400円、大学・高校生1,000円、中・小学生700円
問Bunkamuraザ・ミュージアム ☎03(3477)9413

ディオールの真っ赤なクリスマス
「ル ルージュ ディオール」表参道にて開催

メゾンの創始者ムッシュ・クリスチャン・ディオールが大切にした9つの色（ライラック、ピンク、グレーなど）の中から、2009年秋冬コレクションではルージュ（赤）をフィーチャー。ディオール表参道ブティックでは情熱、憧れ、美、そして愛を象徴するルージュにちなんだイベント「ル ルージュ ディオール」をクリスマスまでの期間限定で開催。ケヤキ並木の大通りに面したガラスのファサード一面を真っ赤なイルミネーションで飾り、店内では「ルージュ」をテーマに、ディオールの貴重なコレクションの中から赤のドレス13体を展示するオートクチュール展覧会を開催。赤にちなんだ限定商品も見逃せない。

「ル ルージュ ディオール」オートクチュール展覧会
会場／ディオール表参道　4階（東京・表参道）
期間／11月21日（土）～12月26日（土）休館なし
開館／11:00～20:00（入館は閉館30分前まで）入館料／無料
問クリスチャン ディオール ☎03(3263)2266



クリスチャン　ディオール　オートクチュール 1957年秋冬 "DIABLOTINE"と名づけられたドレス Photo by Laziz Hamani

赤いイルミネーションに染まったディオール表参道



「特別な日、ジュエリーデー」を記念した
ダイヤモンドペンダント、プレゼント。

社団法人日本ジュエリー協会では、個々の人の誕生日や記念日などの特別な日をジュエリーで思い出深いものにしてほしい、との思いから、ダイヤモンドなどの宝石の質量をあらわす単位である"カラット"がはじめて制定された11月11日を「ジュエリーデー」と定め、「特別な日、ジュエリーデー」と題したキャンペーンを、年間を通じ展開している。その一環として、本年度の"イヤージュエリー"であるダイヤモンドをK18ホワイトゴールドにあしらった記念ペンダントを、読者様の中から1名様にプレゼント。このダイヤモンドには"ハート"と"矢"をイメージしたエクセレントカットが施されており、付属のマイクロスコープを通してそれを見るという、ロマンティックな楽しみ方も魅力。ハート型の専用ケースに入れて、お届けします。

◆「特別な日、ジュエリーデー」記念プレゼント
「K18WGオンリーダイヤモンドペンダント」
（株式会社イマックビーシー提供）
K18ホワイトゴールドに0.1カラットのダイヤモンド。
専用ケース、マイクロスコープ付（30,000円相当）。

PRESENT このペンダントを1名様に。応募番号❸





＜団扇を持つ若い女＞1879-80年頃、クラーク美術館©Sterling and Francine Clark Art Institute, Williamstown, Massachusetts, USA



＜縫い物をする若い女＞1879年、シカゴ美術館 Mr.and Mrs.Lewis Larned Coburn Memorial Collection,1933.452.Photography ©The Art Institute of Chicago.

光と色彩が織りなす"幸福論"
「ルノワール～伝統と革新」展

フランスの小説家オクターヴ・ミルボーをして「幸福の画家」と呼ばれた印象派の巨匠ピエール＝オーギュスト・ルノワール（1841-1919）。柔らかな筆づかいで数々の愛らしい女性像や豊麗な裸婦像を生み出し、世界中で高い人気を誇っているルノワールは、伝統的な絵画の手法を踏まえながらも、印象派という前衛から出発し、人気画家として甘んじることなく常に新しい表現法を模索し続け、後に続く近代絵画史に偉大な足跡を残した。本展では、アメリカのボストン美術館やワシントン・ナショナル・ギャラリー、パリのオルセー美術館など主要コレクションから集めた肖像画を中心に、風景画、静物画、装飾画など幅広い作品約80点を「ルノワールへの旅」「身体表現」「花と装飾画」「ファッションとロココの伝統」の4つの章に分け、紹介。また、ポーラ美術館の特別協力のもとX線や赤外線による光学調査を実施。描画手順や使用された材料など、ルノワールの絵画技法を読み解く新たな試みも。

期間／2010年1月20日（水）～4年5日（月）※毎週火曜休館
時間／10:00～18:00 ※毎週金曜は～20:00（入館は閉館30分前まで）
会場／国立新美術館（東京・六本木）
料金／一般1,500円、大学生1,200円、高校生800円、中学生以下無料
問国立新美術館 ☎03(5777)8600（ハローダイヤル）

PRESENT この展覧会チケットを10組20名様に。応募番号❷

日本で最も愛された伝説の少女雑誌の48年
「少女の友」展

かつて、竹久夢二、与謝野晶子、川端康成、西條八十ら各時代の人気画家や文豪たちが筆をふるい、若き日の中原淳一が専属画家としてデビュー、のちに彼を世に送り出すことになる伝説の少女雑誌が存在した。「少女にこそ一流の作品を」をモットーに明治41年（1908）に創刊された「少女の友」は、都会的でエレガントなビジュアルと教養高く洗練された読み物とで、当時の"ハイカラ女学生""文学少女"と呼ばれた、おしゃれに敏感で感受性の鋭い女の子たちを数多く魅了。読者との交流の深さでも有名で、同誌の投書欄には毎月5千通を超える投書が届き、在京の編集部は修学旅行生のメッカとなり、また愛読者には田辺聖子氏や瀬戸内寂聴氏、神沢利子氏（「くまの子ウーフ」）など、後に文学者となった人物も多数いた。本展では、創刊から100年を経て今、ふたたび注目が集まる「少女の友」の貴重なコレクションの中から、創刊号をはじめとする当時そのままの雑誌や"紙の宝石"と呼ばれた優美なふろくの数々、口絵や付録絵原画など約300点を一挙公開。48年にわたる誌面の歴史を振り返りながら、明治・大正・昭和の各時代を彩った感性豊かな少女文化の変遷を回顧する。

期間／開催中～12年23日（水・祝）※毎週月曜休館。11月23日（月・祝）は開館、翌24（火）休館。
時間／10:00～17:00（入館は閉館30分前まで）
会場／弥生美術館（東京・文京区、最寄駅：東京メトロ千代田線「根津」、南北線「東大前」）
料金／一般900円、大高生800円、中小生400円
問弥生美術館 ☎03(3812)0012

竹久夢二／画「トランプ遊び」「少女の友」昭和4年1月号ふろく原画





中原淳一／画「四月の風」「少女の友」昭和15年4月号表紙©JUNICHI NAKAHARA／ひまわりや

PRESENT この展覧会チケットを10組20名様に。応募番号❹

（すでに開催中の展覧会につき、プレゼントは順次発送といたします。応募は12月15日で締め切らせていただきます）

マルニとラデュレがクリスマスに贈る
キュートでゴージャスなマカロンボックス

日本でも大人気の、パリの老舗パティスリー「ラデュレ」から、クリスマスシーズンにぴったりな贅沢なマカロンボックスが、ミラノの人気ブランド「マルニ」とのコラボレーションにより誕生する。マルニのデザイナー、コンスエロ・カスティリオーニはこの企画のために、ドットとフラワーという「マルニ」を象徴する2大モチーフを使ってゴールド&チョコレートブラウンのキュートなボックスを特別デザイン。同時にラデュレからは、金箔をあしらったショコラマカロンを、このボックスに合わせて限定発売。もちろん他のフレーバーのマカロンをこのボックスに入れてもOK。8個入りと18個入りの2つのサイズで、12月1日より、世界限定のラデュレブティック（国内では東京、名古屋の2店）にて発売開始。

◆「マルニ×ラデュレ」マカロンボックス
写真は"MARNI" 限定ゴールドマカロン8個入り4,600円（数量限定のため、予約優先販売）。
そのほか、"MARNI"マカロン18個入り6,100円。
"MARNI"マカロン8個入り2,700円もあり。



問ラデュレ ジャパン
☎03(6902)0384

プレゼント応募方法 プレゼントご希望の方は官製はがき、FAX、Eメールのいずれかにて、右下①～⑦を必ずご明記の上、「モードェモード349号プレゼント係」までご応募ください。

「愛のヴィクトリアン・ジュエリー」展……10組20名様
「ルノワール」展……10組20名様
「特別な日、ジュエリーデー」記念ペンダント…1名様
「少女の友」展……10組20名様（最終締切日12月15日）

応募先 「モードェモード349号プレゼント」係
ハガキ→〒162-0063　東京都新宿区市谷薬王寺町75　（株）モードェモード社
FAX→03-3260-6970　　Eメール→clip@modeetmode.co.jp

記載事項 ①ご希望のプレゼント応募番号をおひとつ ※番号はお書き間違えのないよう、お願いいたします ②お名前（ふりがな）③ご住所（ふりがなと郵便番号） ④お電話番号 ⑤年齢・性別 ⑥ご職業 ⑦今号のご感想・モードェモードへのご意見

プレゼント応募締切日（④以外）2010年1月15日（金）必着

CONTENTS



MODEetMODE

バックナンバー 年間予約購読 お申込方法


No.315 '01秋冬パリ・ミラノ・ロンドン


No.321 '03春夏パリ・ミラノ・ロンドン


No.324 '03秋冬パリオートクチュール
特集 シャネル 5つのサテライト


No.325 '04春夏パリ・ミラノ・ロンドン


No.328 '04秋冬パリオートクチュール
特集 ココ・シャネルのアパルトマン 森 英恵ラストコレクション


No.329 '05春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク


No.330 '05春夏パリオートクチュール
ラガーフェルド、アルマーニ インタビュー


No.331 '05秋冬パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク


No.332 '05秋冬パリオートクチュール
特集 クリスチャン・ディオール生誕100年


No.333 '06春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク


No.334 '06春夏パリオートクチュール


No.335 '06秋冬パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.336 '06秋冬パリオートクチュール


No.337 '07春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.338 '07春夏パリオートクチュール


No.339 '07秋冬パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.340 '07秋冬パリオートクチュール


No.341 '08春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.342 '08春夏パリオートクチュール
特集 ヴァレンティノ・ラストコレクション


No.343 '08秋冬パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.344 '08秋冬パリオートクチュール
特集 サンローラン・スタイルは永遠に


No.345 '09春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク・東京


No.346 '09春夏パリオートクチュール


No.347 '09秋冬・パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク


No.348 '09秋冬パリオートクチュール
特集 ランバン創設120周年

●モードェモード 年間発行予定のご案内（年4回）

春号：2月21日発売	春夏パリ・オートクチュール コレクション号	1400円
夏号：4月21日発売	秋冬パリ・ミラノ・ロンドン・NY・コレクション号	1400円
秋号：8月21日発売	秋冬パリ・オートクチュール コレクション号	1400円
冬号：11月21日発売	春夏パリ・ミラノ・ロンドン・NY・コレクション号	1400円

●バックナンバーお申込方法

綴じ込みの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、現金を添えて郵便局でお手続きいただくか、または、現金書留にてモードェモード販売部までお送りください。一週間程度でお手元にお届けいたします。

- 左記以外の号は品切れです。
- No.341までは定価各1200円（税込）
- No.342、344は定価1300円（税込）No.343、345以降は定価1400円（税込）
- 送料は1冊300円、2～4冊400円、5冊以上500円です。
  本代と送料の合計金額をお送りください。
- 書店に注文していただくこともできます。

●年間予約購読のお申込方法

一年分予約購読料5,500円（4冊分、消費税、送料込み）

★年間予約購読をお申込いただくと、100円お得な料金設定になっております。この機会に是非お申込ください。

綴じ込みの郵便振替用紙に、お送り先の住所、氏名、電話番号、購読開始の号数をご記入の上、現金を添えて郵便局でお手続きください。または、現金書留にて下記住所宛に直接お申込ください。

●お問い合わせ先

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町75
モードェモード社 販売部
☎03(3260)6720 FAX03(3260)6970
http://www.modeetmode.co.jp

雑誌のオンライン書店〈Fujisan.co.jp〉でも、年間予約購読、バックナンバーのお申込を受け付けております。右のQRコード（携帯）または下記URL（PC）よりお申込下さい。
http://www.fujisan.co.jp/modeetmode
（送料、払込システム等は富士山マガジンサービスの利用規約に準じます）。

MODEetMODE
モードェモード No.349（冬号）
2010 春夏パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨーク コレクション号

定価 ―― 1,400円 本体1,333円
編集・発行人 ―― 伊藤 英良
発行所 ―― (株)モードェモード社
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町75
☎03(3260)6720 FAX03(3260)6970
印刷所 ―― 凸版印刷
創基（DTP製版）
製本所 ―― セイコーバインダリー
発行日 ―― 平成22年1月1日
発売日 ―― 平成21年11月21日

Publisher / MODE et MODE SHA LTD. 75, Ichigaya-Yakuoji, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan Tel.03(3260)6720 Fax.03(3260)6970


Lavién·ne S.A., né au Japan, élevé dans le monde,
crée le nouveau monde.
Pour les jeunes femmes élégantes, les excellents
dessinateurs choisissent les superbes tissus Lavien·ne S.A..
LL
LAVIEN·NE TEXTILE
株式会社 ラビアンヌ·ファッション·クリエーター
TOKYO OSAKA
大阪市西区靭本町1−16−15 TEL.06-6441-8001(代表)　東京都渋谷区神山町6−4 TEL.03-3469-9821(代表)
http://www.lavienne.jp.
蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net



定価1,400円 本体1,333円 雑誌コード09841-01 Printed in Japan